

科目名 (英)	IELTS	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	IELTS	授業 態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

英語教育業界にて国際人を育てるプランナーとして、専門学校生を担当した実績のある専任教員が、グローバル人材の基礎力の向上を目的に、本講義を通して基礎英語を学びながら国際感覚を身につけた人材を育成します。中学英語から復習することで英語の理解を深め、ウェディング関係の英語の語彙の習得および異文化理解力も身に付け、学生の意欲的な姿勢を支援します。また、日本や世界の文化の理解を深め、適切な対応ができるようにします。

【到達目標】

基礎レベルの英語の文法を理解し、英語に対する理解を深めることができる。
日本および世界の文化の違いを理解し、適切な対応できる。

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・他己紹介を英語で行い、授業の目的、英語の必要性、異文化理解の重要性を知る	
2回目	英文法(be動詞、一般動詞)の理解と英語でのコミュニケーションの重要性を認識できる	
3回目	英文法(3人称単数現在、依頼文)の理解と世界の結婚式の様子や状況を理解することができる	
4回目	英文法(過去形)の理解とウェディング用語(1)を習得することができる	
5回目	英文法(現在進行形、未来形)の理解とウェディング用語(2)を習得することができる	
6回目	英文法(不定詞)の理解と多文化社会を理解することで、グローバルな国際感覚を養うことができる	
7回目	英文法(助動詞)の理解と西洋人・日本人の特殊性等の異文化理解をすることができる	
8回目	英文法(接続詞)の理解と英語で自分の意見を伝える力を学ぶことができる	
9回目	英文法(比較級)の理解と世界の常識・非常識などの異文化理解をすることができる	
10回目	英文法(受け身)の理解と海外旅行での英語表現、マナーを身に着けることができる	
11回目	英文法(現在完了形)の理解と海外旅行での英語表現、海外旅行での常識・非常識を学ぶことができる	
12回目	英文法(不定詞)の理解と英語での接客ロールプレイをし、会話ができる	
13回目	英文法の総復習をし、理解および活用ができる	
14回目	★評価週	英語文法、語彙、異文化テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	英語文法、語彙、異文化テストの総復習
準備学習 時間外学習		
評価方法	小テスト30% 期末テスト70%	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。本講義は、これからグローバル化していく社会において必要となる英語を基礎から復習していきます。また、世界の異文化事情や社会なども理解していくことで、世界に羽ばたく人材になってほしいと思っています。楽しい英語学習と世界に羽ばたきたくなるような授業をしていきたいと思っていますので、積極的に本講義を受講していただければ幸いです。	
【使用教科書・教材・参考書】		
実践トライアルα+10 育伸社 英語検定試験3級過去問題 旺文社		

科目名 (英)	IT・テクノロジー	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	IT・technology	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
授業では、就職先などで、実務的に使用されるMicrosoftOfficeの操作習得が出来るように実習していきます。特にExcelの操作習得を中心に行います。個人にあわせたレベルにあわせ、基本操作から応用的な操作まで課題を元に学習していきます。							
【実務経験】							
【到達目標】							
MicrosoftOffice(特にExcel)をビジネスの現場でも実際に操作できるレベルになる。							

授業計画・内容		
1回目	Windowsの基本操作、Excelの基本操作ができる	
2回目	Excelの数式の作成、表の作成ができる	
3回目	①Excelの表の編集ができる	
4回目	②Excelの表の編集ができる	
5回目	①Exceのグラフ作成ができる(グラフ作成、グラフの編集、データの更新)	
6回目	②Exceのグラフ作成ができる(円グラフ、グラフレイアウト、グラフスタイル、複合グラフ)	
7回目	①Excelのワークシートの操作ができる(ワークシートの操作、3-D集計、検索と置換)	
8回目	②Excelのワークシートの操作ができる(ウィンドウ枠の固定、分割、整列)	
9回目	①Excelのいろいろな関数ができる(SUM、TODAY、COUNTA、RUNK等)	
10回目	②Excelのいろいろな関数ができる②(VLOOKUP、IF等)	
11回目	①Excelのデータベース機能の操作ができる	
12回目	②Excelのデータベース機能の操作ができる	
13回目	③Excelのデータベース機能の操作ができる	
14回目	★評価週	Excel総合問題
15回目	★まとめ・追試/再試	Excel総合問題の総復習
準備学習 時間外学習	アプリケーションソフトは実際に操作をしないと上達しないので、パソコンの操作をできる限り行って下さい。	
評価方法	期末テスト100%(実技試験)	
受講生への メッセージ	ビジネスの現場ではMicrosoftOffice(特にExcel)は必須であり、Officeの操作が出来れば、仕事もスムーズに進みます。学生の間にOfficeの操作を習得しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ICT.AI基礎	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	田村 勇樹
	ICT.AI fundamentals	授業形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホテル+(エアライン・ブライダル選択者)				2	曜日・時限	火曜4限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。							
【実務経験】 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。							
【到達目標】							
JapaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハーローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席と提出課題を考慮する
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ITマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	IT management	授業形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科				4	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】 実際にプレゼン資料を作りながら、マネジメントを学んでいきます。 【実務経験】 講師紹介：PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。							
【到達目標】 PPTを十分に使いこなすことで、資料を完成させることができる。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有	
2回目	企画資料の作成にあたり目標を定めることができる	
3回目	ミッションを定めることができる	
4回目	問題と課題を設定することができる	
5回目	提供する企画の概要を説明できる	
6回目	プロダクト概要書を作成することができる	
7回目	中間講評	
8回目	市場調査を行い、説明することができる	
9回目	競合調査を行うことができる	
10回目	協力組織体制を説明することができる	
11回目	企画のスケジュールを策定し、説明することができる	
12回目	終始計画を策定し、説明することができる	
13回目	企画書の趣旨を説明することができる	
14回目	★評価週	課題提出
15回目	★まとめ・追試/再試	講評
準備学習 時間外学習		
評価方法	出席と提出課題を考慮する	
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	MICE実務 MICE opelation	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル旅館における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 “日本のMICEの取り組みや状況IRとの関連について知ることができる。ホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともに今後のMICE施設の建設や招致を知ることができる。 福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なMICEを知ることができる”							

授業計画・内容		
1回目	ホテルには系列があることを知ることができる。	
2回目	インバウンドとは(国内旅行・海外旅行の相違点)学び理解できる	
3回目	外国人から見た日本の魅力(プラス・マイナス面)学び理解できる	
4回目	訪日外国人の日本への入国査証(VISA)の現状について学び理解できる	
5回目	訪日外国人のホテル利用について学び理解できる	
6回目	MICEノメリットについて① 開催地に高い経済効果をもたらす事について学び、理解できる。	
7回目	MICEノメリットについて② ビジネスチャンスやイノベーションの創出事について学び、理解できる。	
8回目	MICEノメリットについて③ 世界の都市の競争が促進され、ブランド力が向上する事について学び、理解できる。	
9回目	MICE開催への課題① MICEを開催するための施設や参加者が滞在する施設の不足について学び、理解できる	
10回目	MICE開催への課題② MICEの促進に必要なことは何かをグループで討論し造詣を深めることができる	
11回目	前週の討論をプレゼンテーションする。(MICEの未来について)	
12回目	コロナに対するMICEの対策やホテルの今後の対策を知ることができる。	
13回目	世界の今後のホテルの組織からのMICE/IRIについて知ることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目		期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	MICE関連の記事や情報を事前に取得して授業に臨むように	
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	MICE実務 MICE opelation	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル旅館における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 “日本のMICEの取り組みや状況IRとの関連について知ることができる。ホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともに今後のMICE施設の建設や招致を知ることができる。 福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なMICEを知ることができる”							

授業計画・内容		
1回目	前年に学んだことのおさらい	
2回目	観光立国実現に向けたアクション・プログラムについて学び造詣を深める	
3回目	ユニークベニューの利用促進について学び造詣を深める	
4回目	MICEインフラ設備投資について学び造詣を深める	
5回目	誘致ノウハウ(マーケティング・集客)について学び造詣を深める	
6回目	MICEノメリットについて① 開催地に高い経済効果をもたらす事について学び、理解できる。	
7回目	MICEノメリットについて② ビジネスチャンスやイノベーションの創出事について学び、理解できる。	
8回目	MICEノメリットについて③ 世界の都市の競争が促進され、ブランド力が向上する事について学び、理解できる。	
9回目	MICE開催への課題① MICEを開催するための施設や参加者が滞在する施設の不足について学び、理解できる	
10回目	MICE開催への課題② MICEの促進に必要なことは何かをグループで討論し造詣を深めることができる	
11回目	前週の討論をプレゼンテーションする。(MICEの未来について)	
12回目	コロナに対するMICEの対策やホテルの今後の対策を知ることができる。	
13回目	世界の今後のホテルの組織からのMICE/IRIについて知ることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目		期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	MICE関連の記事や情報を事前に取得して授業に臨むように	
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	アカウンティング Accounting	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） インターナショナルチェーンホテルの課長代理以上のマネージャーを対象に、リーダーシップワークショップで実施していた「自分の専門外である他部署の知識」のトレーニング教材やトレーナー経験を基に、実務上の具体例を教材として、人材開発を行う。							
【到達目標】 1.ホテル等業界における取引を、財務諸表に表現できる 中間テスト 2.予算、予想と実績に差額が発生している明確な原因の分析と、修正すべき政策提案ができる 期末テスト							

授業計画・内容		
1回目	会計を学ぶ意味を理解することができる。(SMART Goal、財務会計と管理会計、仕訳、部門と勘定科目を学ぶ)	
2回目	売上に関わる会計を理解することができる。(宿泊部門売上と料飲部門売上、Income Audit、AR と General Cashierの業務を学ぶ)	
3回目	ホテルの支出の種類と内容を理解することができる。(固定費と変動費、原価と経費について学ぶ)	
4回目	原価管理の仕組みと方法を理解することができる。(Cost controller と Material、仕入れ管理を学ぶ)	
5回目	財務諸表を理解することができる。(損益計算書、貸借対照表、キャッシュフローを学ぶ)	
6回目	現金主義と発生主義を理解することができる。(各々の財務諸表に表すことができる)	
7回目	中間テスト 取引を財務諸表に表す	
8回目	中間テスト解答解説、人件費管理の方法を理解することができる。(労務管理についても学ぶ)	
9回目	予実管理と政策決定・効果測定のはじめとして、Business Planingを理解することができる。	
10回目	予実管理と政策決定・効果測定のひとつ、Budgetingを理解することができる。	
11回目	予実管理と政策決定・効果測定のひとつ、Forecastingを理解することができる。	
12回目	予実管理と政策決定・効果測定の最重要業務Variance Reportを理解することができる。(前半)	
13回目	予実管理と政策決定・効果測定の最重要業務Variance Reportを理解することができる。(後半)	
14回目	★評価週	期末テスト planing
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト解答解説・追試/再試
	テーマによってグループシンキングによるプレゼンを実施する。	
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	守破離のバランスが大切です。成功するまでやり続けることが、成功の秘訣です。 We care for people so they can be their best.	
【使用教科書・教材・参考書】		
特に無し	すべてPPTスライド説明とプリント使用	

科目名 (英)	アセットマネジメント Asset management	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	曜日・時限
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） インターナショナルチェーンホテルの課長代理以上のマネージャーを対象に、リーダーシップワークショップで実施していた「自分の専門外である他部署の知識」のトレーニング教材やトレーナー経験を基に、実務上の具体例を教材として、人材開発を行う。							
【到達目標】 1.ホテル等業界における資産管理を理解できる							

授業計画・内容		
1回目	投資資産の運用を実際の所有者・投資家に代行して行う業務について学び理解できる。	
2回目	売上に関わる会計を理解することができる。(宿泊部門売上と料飲部門売上、Income Audit、AR と General Cashierの業務を学ぶ)	
3回目	ホテルの支出の種類と内容を理解することができる。(固定費と変動費、原価と経費について学ぶ)	
4回目	原価管理の仕組みと方法を理解することができる。(Cost controller と Material、仕入れ管理を学ぶ)	
5回目	財務諸表を理解することができる。(損益計算書、貸借対照表、キャッシュフローを学ぶ)	
6回目	現金主義と発生主義を理解することができる。(各々の財務諸表に表すことができる)	
7回目	中間テスト 取引を財務諸表に表す	
8回目	中間テスト解答解説、人件費管理の方法を理解することができる。(労務管理についても学ぶ)	
9回目	予実管理と政策決定・効果測定のはじめとして、Business Planingを理解することができる。	
10回目	予実管理と政策決定・効果測定のひとつ、Budgetingを理解することができる。	
11回目	予実管理と政策決定・効果測定のひとつ、Forecastingを理解することができる。	
12回目	予実管理と政策決定・効果測定の最重要業務Variance Reportを理解することができる。(前半)	
13回目	予実管理と政策決定・効果測定の最重要業務Variance Reportを理解することができる。(後半)	
14回目	★評価週	期末テスト planing
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト解答解説・追試/再試
	テーマによってグループシンキングによるプレゼンを実施する。	
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	守破離のバランスが大切です。成功するまでやり続けることが、成功の秘訣です。 We care for people so they can be their best.	
【使用教科書・教材・参考書】		
特に無し	すべてPPTスライド説明とプリント使用	

科目名 (英)	アマデウスシステム	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
	amadeus system	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。

【到達目標】

業界用語、3レターを用いた上でアマデウスの成り立ちや基礎を理解できるようになる。フライトの予約を取られるようになる。

科目名 (英)	アマデウスシステム	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	amadeus system	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。							
【到達目標】 業界用語、3レターを用いた上でアマデウスの成り立ちや基礎を理解できるようになる。フライトの予約を取られるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	アイスブレイク/検定や中間期末テストについての説明/GDSとは・アマデウスとはを理解できるようになる	
2回目	3レター・業界用語(基礎)について理解できるようになる/月の入力方法・ヘボン式ローマ字入力ができるようになる	
3回目	コード検索・都市コード・空港コード(DAN、DAC)とその見方について理解できるようになる	
4回目	国コード(DC)・州コード(DNS)・機材(DNE)・航空会社コード(DNA)検索とその見方について理解できるようになる	
5回目	空席照会(基本)とその見方について理解できるようになる	
6回目	空席照会オプションを使えるようになる/中間テストに向けて復習	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストフィードバック/空席照会後のショートカットエントリを使えるようになる	
9回目	フライト予約(1区間のみ)ができるようになる、1区間ずつ複数のフライト予約ができるようになる/IGについて理解できるようになる	
10回目	ロングセルエントリにてフライト予約できるようになる/乗り継ぎがあるフライトの予約ができるようになる(not往復)	
11回目	乗り継ぎがあるフライトをクラス違いで予約できるようになる	
12回目	アクセスレベルについて理解できるようになる/ダイレクトアクセスができるようになる	
13回目	タイムテーブルとその見方について理解できるようになる	
14回目	★評価週	期末テストに向けて前期の復習
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50点)、期末テスト(50点)の合計点	
受講生への メッセージ	航空業界で使用する予約システムの授業です。専門知識で聞きなれない言葉も多くでできますので、初めは難しいと感じることもあると思います。ですがアマデウスの基礎知識を付け、さらに検定取得もできれば、即戦力として業界へのアピールポイントになります！！航空業界の実際の業務を理解しながら、検定に向けて頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
AMADEUS ユーザーガイド 予約		

科目名 (英)	アマデウスシステム	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	amadeus system	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。							
【到達目標】 業界用語、3レターを用いた上でアマデウスの成り立ちや基礎を理解できるようになる。フライトの予約を取られるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	アイスブレイク/検定や中間期末テストについての説明/GDSとは・アマデウスとはを理解できるようになる	
2回目	3レター・業界用語(基礎)について理解できるようになる/月の入力方法・ヘボン式ローマ字入力ができるようになる	
3回目	コード検索・都市コード・空港コード(DAN、DAC)とその見方について理解できるようになる	
4回目	国コード(DC)・州コード(DNS)・機材(DNE)・航空会社コード(DNA)検索とその見方について理解できるようになる	
5回目	空席照会(基本)とその見方について理解できるようになる	
6回目	空席照会オプションを使えるようになる/中間テストに向けて復習	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストフィードバック/空席照会後のショートカットエントリを使えるようになる	
9回目	フライト予約(1区間のみ)ができるようになる、1区間ずつ複数のフライト予約ができるようになる/IGIについて理解できるようになる	
10回目	ロングセルエントリにてフライト予約できるようになる/乗り継ぎがあるフライトの予約ができるようになる(not往復)	
11回目	乗り継ぎがあるフライトをクラス違いで予約できるようになる	
12回目	アクセスレベルについて理解できるようになる/ダイレクトアクセスができるようになる	
13回目	タイムテーブルとその見方について理解できるようになる	
14回目	★評価週	期末テストに向けて前期の復習
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50点)、期末テスト(50点)の合計点	
受講生への メッセージ	航空業界で使用する予約システムの授業です。専門知識で聞きなれない言葉も多くできますので、初めは難しいと感じることもあると思います。ですがアマデウスの基礎知識を付け、さらに検定取得もできれば、即戦力として業界へのアピールポイントになります！！航空業界の実際の業務を理解しながら、検定に向けて頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
AMADEUS ユーザーガイド 予約		

科目名 (英)	インバウンドガイド inbound guide	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国土交通省観光庁認定1級講師より、宿泊業や観光業にかかわるインバウンドの旅行の特徴、国籍による考え方の違いを学ぶ。実際のデータや実体験のストーリーをもとに、インバウンドのお客様に喜んでいただく日本でのご過ごし方を探っていく。また外国語が苦手でもツールを使ってコミュニケーションをとる方法を具体的に学ぶ。							
【到達目標】 異文化を理解することができる 外国のお客様に通じる接遇をの基本を理解できる 外国のお客様を迎える心構えとそのポイントをすることができる。 外国のお客様とデバイスやコミュニケーションシートを使って積極的にコミュニケーションをとることができる。 英語で簡単な挨拶ができる							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介、授業の進め方	
2回目	数字で見る日本の観光実態(インバウンドの数字の移り変わり)を理解できる	
3回目	外国のお客様に伝わる接遇の基本を学び理解できる	
4回目	外国のお客様をお迎えするときのポイントを学び理解できる	
5回目	ホスピタリティーについて学び理解できる	
6回目	コミュニケーションの方法について学び理解できる	
7回目	多言語コミュニケーションシートを使って実践をしてみる	
8回目	多言語コミュニケーションシートを使って実践をしてみる	
9回目	スマホやタブレットを使って実践をしてみる	
10回目	スマホやタブレットを使って実践をしてみる	
11回目	日本の常識は世界の常識ではないことを学び理解できる	
12回目	英語で簡単な挨拶と指示ができるようになる	
13回目	英語で簡単な挨拶と指示ができるようになる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	国交省観光庁が監修したコミュニケーションシートとVoice Traを導入して事前に自分でトライしてみる	
評価方法	期末テスト100%(実践も含む)	
受講生への メッセージ	日本のインバウンド対応に関してはコロナを境にマスで処理する大型観光から、個人対応それもナイトタイムエンターテインメントを大事にずるに変わりつつあります。IRを含めた総合的な対応を学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
多言語コミュニケーションシート、Voicetra		

科目名 (英)	インバウンド実務検定A inbound A	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 旅行会社にてコンシェルジュとして20年以上現役で活躍する講師が、日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。 九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道 の9つに分けて 観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。							
【到達目標】 (到達目標) インバウンド実務主任者 資格取得レベルまでの学習。日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査
2回目	インバウンドとニューツーリズム: 沖縄・九州の観光地授業の内容を理解できる
3回目	インバウンドとニューツーリズム: 沖縄・九州・中国の観光地授業の内容を理解できる
4回目	インバウンドとニューツーリズム: 中国・四国の観光地授業の内容を理解する。
5回目	訪日外国人の理解: 関西 観光地授業の内容を理解する。 日帰り旅行企画説明を聞き、実施内容を理解する。
6回目	訪日外国人の理解: 九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで作成できる
7回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで発表する。
8回目	インバウンドの集客: 関西 観光地授業の内容を理解できる
9回目	インバウンドの集客: 北陸・東海 観光地授業の内容を理解する。
10回目	インバウンドの集客: 関東・東北 観光授業の内容を理解する。
11回目	インバウンドの集客: 関東・東北 観光授業の内容を理解できる
12回目	インバウンドの集客: 北海道 観光地授業の内容を理解できる
13回目	インバウンドの集客: 北海道 観光地授業の内容を理解できる。 テスト説明を聞き、内容を理解する。
14回目	★評価週 筆記テスト
15回目	★まとめ・追試/再試 期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	日帰り旅行企画での評価 50% 筆記テストでの評価 50%
受講生へのメッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	インバウンド実務検定A inbound A	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 旅行会社にてコンシェルジュとして20年以上現役で活躍する講師が、日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。 九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道 の9つに分けて 観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。							
【到達目標】 (到達目標) インバウンド実務主任者 資格取得レベルまでの学習。日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査
2回目	インバウンドとニューツーリズム: 沖縄・九州の観光地授業の内容を理解できる
3回目	インバウンドとニューツーリズム: 沖縄・九州・中国の観光地授業の内容を理解できる
4回目	インバウンドとニューツーリズム: 中国・四国の観光地授業の内容を理解する。
5回目	訪日外国人の理解: 関西 観光地授業の内容を理解する。 日帰り旅行企画説明を聞き、実施内容を理解する。
6回目	訪日外国人の理解: 九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで作成できる
7回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで発表する。
8回目	インバウンドの集客: 関西 観光地授業の内容を理解できる
9回目	インバウンドの集客: 北陸・東海 観光地授業の内容を理解する。
10回目	インバウンドの集客: 関東・東北 観光授業の内容を理解する。
11回目	インバウンドの集客: 関東・東北 観光授業の内容を理解できる
12回目	インバウンドの集客: 北海道 観光地授業の内容を理解できる
13回目	インバウンドの集客: 北海道 観光地授業の内容を理解できる。 テスト説明を聞き、内容を理解する。
14回目	★評価週 筆記テスト
15回目	★まとめ・追試/再試 期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	日帰り旅行企画での評価 50% 筆記テストでの評価 50%
受講生へのメッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	インバウンド実務検定A inbound A	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 旅行会社にてコンシェルジュとして20年以上現役で活躍する講師が、日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。 九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道 の9つに分けて 観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。							
【到達目標】 (到達目標) インバウンド実務主任者 資格取得レベルまでの学習。日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査
2回目	インバウンドとニューツーリズム: 沖縄・九州の観光地授業の内容を理解できる
3回目	インバウンドとニューツーリズム: 沖縄・九州・中国の観光地授業の内容を理解できる
4回目	インバウンドとニューツーリズム: 中国・四国の観光地授業の内容を理解する。
5回目	訪日外国人の理解: 関西 観光地授業の内容を理解する。 日帰り旅行企画説明を聞き、実施内容を理解する。
6回目	訪日外国人の理解: 九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで作成できる
7回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで発表する。
8回目	インバウンドの集客: 関西 観光地授業の内容を理解できる
9回目	インバウンドの集客: 北陸・東海 観光地授業の内容を理解する。
10回目	インバウンドの集客: 関東・東北 観光授業の内容を理解する。
11回目	インバウンドの集客: 関東・東北 観光授業の内容を理解できる
12回目	インバウンドの集客: 北海道 観光地授業の内容を理解できる
13回目	インバウンドの集客: 北海道 観光地授業の内容を理解できる。 テスト説明を聞き、内容を理解する。
14回目	★評価週 筆記テスト
15回目	★まとめ・追試/再試 期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	日帰り旅行企画での評価 50% 筆記テストでの評価 50%
受講生へのメッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	インバウンド実務検定B inbound B	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 旅行会社にてコンシェルジュとして20年以上現役で活躍する講師が、日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。 九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道 の9つに分けて 観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。							
【到達目標】 (到達目標) インバウンド実務主任者 資格取得レベルまでの学習。日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることが出来るようになる。							

授業計画・内容		
1回目	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査	
2回目	インバウンドとニューツーリズム:新しいスタイルの旅行を学び造詣を深めることができる	
3回目	インバウンドとニューツーリズム:人や自然とのふれあいを学び造詣を深めることができる	
4回目	インバウンドとニューツーリズム:リピーターの取り込みを学び造詣を深めることができる	
5回目	訪日外国人の理解:外国人の多様性を知る、関西 観光地授業の内容を理解する。	
6回目	訪日外国人の理解:外国人の多様性を知ることができる	
7回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで発表する。	
8回目	インバウンドの集客:異文化の違いを理解する	
9回目	インバウンドの集客:異文化の違いを理解する	
10回目	インバウンドの集客: SNSの活用と各国のウェブサイトを見て理解できる	
11回目	インバウンドの集客: 紙媒体やインフルエンサーの活用が出来る	
12回目	インバウンドの集客: エコ・映画・忍者ツアーの作成が出来る	
13回目	インバウンドの集客:	地方創生ツアーの作成が出来る
14回目	★評価週	筆記テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	日帰り旅行企画での評価 50% 筆記テストでの評価 50%	
受講生へのメッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	カフェ・パティスリー演習	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
	Cafe patisserie training	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
カフェやパティスリーの基本的概念を学ぶ。身近なコーヒーやデザートなどの嗜好品の魅力と欧米の食文化について学ぶ							
【到達目標】							
①それぞれのお菓子の持つ特徴や制作工程を理解し、菓子文化とコーヒーの基礎知識を身に付ける。 ②衛生的な作業の重要性を学び身につける ③製菓に関連深いコーヒーの上手な淹れ方を習得する。							

授業計画・内容		
1回目	製菓業界理解① ホテルと専門店のパティスリーについて	
2回目	製菓業界理解② ホテルと専門店のパティスリーについて	
3回目	代表的な製菓や文化を学び知識を深めることができる① チョコレート	
4回目	代表的な製菓や文化を学び知識を深めることができる② フロマージュ	
5回目	代表的な製菓や文化を学び知識を深めることができる③ ガトーフレーズ モンブラン	
6回目	代表的な製菓や文化を学び知識を深めることができる④ ゼリー、ムース	
7回目	代表的な製菓や文化を学び知識を深めることができる⑤ ショートペースト(サブレ・ガレット)	
8回目	コーヒー (1) コーヒーの製法と分類 (2) コーヒーのおいしい入れ方 (3) 代表的なコーヒーの試飲 学び知識を深めることができる	
9回目	カフェの有名店の特徴について	
10回目	バリスタの仕事について	
11回目	ヨーロッパにおけるカフェの特色について① イタリア・スペイン	
12回目	ヨーロッパにおけるカフェの特色について② フランス	
13回目	ヨーロッパにおけるカフェの特色について③ ドイツ・スイス・オランダ	
14回目	★評価週	学んだことをレポート作成
15回目		振り返り
準備学習 時間外学習	スイーツ文化とコーヒーの文化に興味を持って取り組んでください。	
評価方法	レポートにて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	carreier program	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホテルマネジメントコース					曜日・時限	
【授業の学習内容】 丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。 また様々な形式の面接試験でのマナーやポイントを抑え、自信を持って「傾聴」と「対話」の中での自己PRができるよう導きます。 【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループにて 勤務							
【到達目標】 ①面接に向けて自身の必要なスキルを上げることができる。 ②模擬面接を通じてスムーズに面接内で自身の考えを伝えることができる。 ③自己分析を通じて自身の可能性に気付き、将来に向けてスキルアップへの意欲を高めることができる。 ④企業や職種研修を通じて関心を高め、今後の業界の姿やそこの働き方をイメージすることができる。							

授業計画・内容		
1回目	シラバスを使って授業の進め方、講師の自己紹介、学生の就職活動と自己紹介。	
2回目	就職と就社の違い、学生と社会人の違いを知ることができる。	
3回目	接遇5原則の誕生秘話、接遇と接客の違いを知ることができる。	
4回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
5回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
6回目	自己PRと強みの違いを知ることができる。	
7回目	会社に入社して何をしたいのか考えることができる。	
8回目	気になるニュースの選び方を知ることができる。	
9回目	文章の作り方や構成についてを学び、小論文と作文の違いを知ることができる。	
10回目	クッション言葉と肯定的否定語、接客用語について知ることができる。	
11回目	実践を通して職場内で使われる用語を知ることができる。	
12回目	実践を通して礼状の書き方を身につけることができる。	
13回目	実践を通して、敬語を学ぶことができる。	
14回目	★評価週	模擬授業(一人ひとり実践)
15回目	★まとめ・追試/再試	オンライン面接のポイントを理解できる 半期の総括
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	career program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましよう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
	career program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましよう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
	carreier program	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホテルマネジメントコース					曜日・時限	
【授業の学習内容】 丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。 また様々な形式の面接試験でのマナーやポイントを抑え、自信を持って「傾聴」と「対話」の中での自己PRができるよう導きます。							
【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループにて 勤務							
【到達目標】 ①面接に向けて自身の必要なスキルを上げることができる。 ②模擬面接を通じてスムーズに面接内で自身の考えを伝えることができる。 ③自己分析を通じて自身の可能性に気づき、将来に向けてスキルアップへの意欲を高めることができる。 ④企業や職種研修を通じて関心を高め、今後の業界の姿やそこでの働き方をイメージすることができる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介および就職活動の進捗紹介， 授業の目的と就職する意味を理解できる， 自身の目指す未来像から今期の目標を定めることができる	
2回目	受験先へのエントリーおよび応募書類の作成方法と提出マナーについて学ぶことができる	
3回目	業界および企業研究のポイント， 企業と学生の視点の違いと重視すべきポイントを理解することができる。	
4回目	自己分析の必要性を理解して， ポイントを抑えた客観的な自己分析の方法を学ぶことができる(自分史の作成と経験の分析)	
5回目	様々な角度から自己を客観的に捉え， 長所や特技を抽出できる ●エゴグラム(性質， 他者との関わり方， 集団での立ち位置)	
6回目	PREP法に則り， わかりやすく説得力のある表現を実践することができる ●記述 ●口述 ●リフレーミング	
7回目	志望企業や職種を意識して， 経験や長所から基本的な自己PRを作成することができる ●企業研究 ●趣味・特技	
8回目	自己分析・業界研究・企業研究を踏まえて， 企業への熱意と将来の活躍を感じさせる説得力のある志望動機を作成することができる	
9回目	基本的な履歴書を作成し， 添削を受けることができる	
10回目	面接試験の重要性を理解し， ポイントを理解できる ●マナー ●表情 ●立ち居振る舞い ●発声 ●対話力 ●傾聴姿勢	
11回目	これまでの経験， 自身の抱くホスピタリティや長所， 趣味・特技などを踏まえた自分らしい自己PRを口述できる ●活舌	
12回目	グループ面接のポイントを理解し， 練習と振り返りができる	
13回目	グループディスカッションのポイントを理解し， 練習と振り返りができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	オンライン面接のポイントを理解できる 半期の総括
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等， 指示された課題は必ず行い， 授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 面接練習で習ったポイントは， 授業後にくり返し練習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布		

科目名 (英)	コミュニケーション	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	communication	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】司会業を活かしての、発声、発音、滑舌など基本的な話し方を学び、誰からも好感がもてる対話やスピーチ、プレゼンテーションが出来ることを目指す授業を行う。 【実務経験】 ホテルコンシェルジュやブライダルプランナーの新規接客経験							
【到達目標】 分かりやすく好感もてるアナウンスたプレゼンテーションだけでなく自己PRでき、商品をPRでき、会社をPRでき、意見の言える人財になる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 自己紹介のポイントを知り活用できる	
2回目	笑顔と挨拶を練習を行い、相手への印象を変えることが出来る	
3回目	話し方基礎スキルを学ぶことが出来る（滑舌、抑揚、イントネーション、間の取り方など）	
4回目	スピーチ(30秒、1分)実際に時間を図って体感することが出来る	
5回目	スピーチ(3分) が出来るようになる	
6回目	発表もしくは課題提出が出来る	
7回目	インタビュースキル(質問の仕方、会話の広げ方、本音を引き出す話し方、印象に残る話し方)を学ぶことが出来る	
8回目	ナレーション課題①を仕上げる事が出来る	
9回目	ナレーション課題②を仕上げる事が出来る	
10回目	好きなことプレゼン(映画、本、夢中になっていること)で熱を相手に伝えることが出来る	
11回目	フリートーク術を身に付けることが出来る	
12回目	抑揚をつけて話を面白くすることを実践してみることが出来る	
13回目	ナレーション選択課題の練習を行い発表の準備が出来る	
14回目	★評価週	ナレーション課題の発表
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	ナレーション課題の発表	
受講生への メッセージ	相手により伝わるには？を考えながら練習する場です。普段の話し方も変わるし、好印象にも繋がるので積極的に実践して欲しい内容です。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	コンシェルジュ実務 Concierge basics	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
コンシェルジュの実務やそのオペレーション、知識について学ぶ							
【到達目標】 コンシェルジュの実務について造詣を深め就職活動における業界知識の底上げにつなげる							

授業計画・内容	
1回目	コンシェルジュ業務について学び造詣を深めることができる
2回目	外資系、国内系様々なホテルでのコンシェルジュ業務について学び造詣を深めることができる
3回目	コンシェルジュ接客作法について 接客:一流の【考え方】について学び造詣を深めることができる
4回目	コンシェルジュ接客作法について 接客:一流の【外見力】について学び造詣を深めることができる
5回目	コンシェルジュ接客作法について 接客:一流の【察知力】について学び造詣を深めることができる
6回目	コンシェルジュ接客作法について 接客:一流の【会話力】について学び造詣を深めることができる
7回目	コンシェルジュ接客作法について 接客:一流の【語彙力】について学び造詣を深めることができる
8回目	コンシェルジュ接客作法について 接客:一流の【対応力】について学び造詣を深めることができる
9回目	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クロークの業務を理解し、実践形式で対応できる
10回目	ロールプレイング／フロント業務(リザーベーション、レセプション、インフォメーションなど)を理解し、実践形式で対応できる
11回目	ロールプレイング／フロント、コンシェルジュ業務を実践形式で対応出来る
12回目	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる
13回目	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる
14回目	★評価週
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	外資系、国内系様々なホテルでのコンシェルジュ業務に興味を持って取り組んでもらいたい
評価方法	レポートにて評価
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルレジュメ	

科目名 (英)	コンピューター演習 Practice of computer	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
営業、Webディレクター、ブライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に着けた講師として、 パソコンの実務的な使い方を学習していきます。 授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。							
【到達目標】 ①自身の持っているパソコンやタブレットPCの機能を知り、活用することができる。②PowerPointを活用したプレゼンテーションに必要な基本的なスキルを身に付けることができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション: 自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。 タイピング練習をしてキーボードに慣れる。	
2回目	画像加工:remove bgを使い画像加工をし、自由に使える様になる。	
3回目	PowerPoint課題①: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。画像挿入ができる様になる。	
4回目	PowerPoint課題①: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。文字入力装飾ができる様になる。	
5回目	PowerPoint課題①: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。アニメーション、画面切り替えができる様になる。	
6回目	PowerPoint課題①: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。仕上げが出来る	
7回目	PowerPoint課題①: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。上映会を実施できる。	
8回目	メールの使い方:メーラーの環境設定と使い方がわかる様になる。	
9回目	メールの使い方:ビジネスメールのポイントと注意点を学習し、メールを送受信をできる様になる。	
10回目	便利ツールの紹介:パソコンを使う上で便利なツールを紹介、各自ダウンロードをインストールしてもらいます。他拡張子について学習し理解できる	
11回目	PowerPoint課題②:他已紹介スライドを作成① 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる	
12回目	PowerPoint課題②:他已紹介スライドを作成② 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる	
13回目	PowerPoint課題②:他已紹介スライドを作成③ 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる	
14回目	★評価週	PowerPoint課題②: 他已紹介プレゼンが出来る
15回目		PowerPoint課題②: 他已紹介プレゼン(予備)今までの復習
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレはどの様子に作っているのか興味を持ってください。 分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をしてみて欲しい。 そして自	
評価方法	定期試験は実施しません。 提出物50%、発表50%で評価します。	
受講生へのメッセージ	まずはパソコンに慣れて欲しい。車の免許と一緒に一度身につけてしまえば一生ものです。 とにかく触って慣れてくださいね。	
【使用教科書・教材・参考書】 随時必要な時にプリント及び、データで配布します。		

科目名 (英)	ソムリエ実習 Practice of Sommelier	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 業界の現場で必要なワインサービスの基礎知識と基礎スキルを実技学習でフォローアップいたします ※実務経験 株式会社Plan.Do.See ホテル・レストラン店舗のソムリエとして福岡・東京・名古屋にて11年間勤務 その後独立ワインバー マルカッサン3Fを開業 現在に至る							
【到達目標】 ワイン検定 ブロンズクラス受験に挑戦できるスキルを身につけることができる ワインサービスの基礎を理解し実践できる							

授業計画・内容		
1回目	ワインのサービス概要 ワインサービスの全体的な流れを理解する	
2回目	①ワインサービス お客様のエスコートからワインオーダーテイク サービス備品セッティングをすることができる	
3回目	②ワインサービス ワインの抜栓を実践し挑戦する	
4回目	②ワインサービス ワインの抜栓を実践し挑戦する	
5回目	①サービスシーン(デート・記念日)を理解しワインサービスができる	
6回目	②サービスシーン(ビジネス・接待)を理解しワインサービスができる	
7回目	①ワイン別シーン(白ワイン)を理解しワインサービスができる	
8回目	②ワイン別シーン(赤ワイン)を理解しワインサービスができる	
9回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる	
10回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる	
11回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる	
12回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる	
13回目	最終全体まとめ 全員がワインのパニエ抜栓のスキルを習得できている	
14回目	＊ 試験	
15回目	＊ 試験解答解説	
準備学習 時間外学習		
評価方法	実技試験	
受講生への メッセージ	本講義では実際の業界現場で活かせる実技体験を習得してもらえる講義内容です 積極的に挑戦し回数を重ねることでレベルアップにつながります	
【使用教科書・教材・参考書】		
日本ソムリエ協会教本 西洋料理 料飲接客サービス技法教本		

科目名 (英)	ツアープランニング基礎 Domestic Tourism Geography	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 旅行会社にてコンシェルジュとして現役で活躍する講師が、日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。 九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道 の9つに分けて 観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。							
【到達目標】 日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査
2回目	沖縄・九州の観光地授業の内容を理解する。
3回目	沖縄・九州・中国の観光地授業の内容を理解する。
4回目	中国・四国の観光地授業の内容を理解する。
5回目	関西 観光地授業の内容を理解する。 日帰り旅行企画説明を聞き、実施内容を理解する。
6回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで作成する。
7回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで発表する。
8回目	関西 観光地授業の内容を理解する。
9回目	北陸・東海 観光地授業の内容を理解する。
10回目	関東・東北 観光授業の内容を理解する。
11回目	関東・東北 観光授業の内容を理解する。
12回目	北海道 観光地授業の内容を理解する。
13回目	北海道 観光地授業の内容を理解する。 テスト説明を聞き、内容を理解する。
14回目	★評価週 筆記テスト
15回目	★まとめ・追試/再試 期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	日帰り旅行企画での評価 50% 筆記テストでの評価 50%
受講生へのメッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ネイチャーガイド実務	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】							
観光庁が推進する地方トラベルにおけるネイチャーガイドについての理解を深め、旅行業の次のビジネスモデルへ繋げる事例を学ぶ。各地域の観光協会等の取組み事例を学び、自然や環境、SDGsに沿ったプランの作成を行っていく 実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】							
各地域の実態に即した自然を満喫できるプランの作成ができる。 作成したプランのポイントを含め、プレゼンテーションができる。							

授業計画・内容		
1回目	ネイチャーガイドの仕事について理解できる	
2回目	ネイチャーガイド総論①について学び理解できる	
3回目	ネイチャーガイド総論②について学び理解できる	
4回目	エコツーリズム について学び理解できる	
5回目	文化観光、産業観光 について学び理解できる	
6回目	スポーツツーリズム について学び理解できる	
7回目	グリーンツーリズム について学び理解できる	
8回目	国立公園満喫プラン について学び理解できる	
9回目	山旅・登山・ウォーキング について学び理解できる	
10回目	ヘルスツーリズム について学び理解できる	
11回目	ネイチャーガイドプラン作成① これまで学んだことを活かしプランを作成できる	
12回目	ネイチャーガイドプラン作成② これまで学んだことを活かしプランを作成できる	
13回目	ネイチャーガイドプラン作成③ これまで学んだことを活かしプランを作成できる	
14回目	★評価週	ネイチャーガイドプラン プレゼンテーション これまで学んだことを活かしプラン発表できる
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	授業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ	自信を持って生き生きと働く自分の姿を想像してみましょう。この授業で取り上げる内容は、社会に出て役に立つことばかりです。毎授業プレ社会人のつもりで受講し、仕事の面白さと重要性を実感してください。キラキラ輝く新社会人を目指しましょう。 また、現在はダイバーシティ(多様性)を更に認めていこうとする世界的な流れがあります。そのような社会で様々な立場の人たちとどう関わっていけば良いかを考えながら、ユニバーサルマナーやサービス介助の方法についても不安なく実践できるレベルまで身につけましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルテキスト		
その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	ビジネスマナー講座 bussiness manner	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	

【学習内容】

前期の授業を踏まえて、社会人に必要なビジネスマナーを新入社員研修のカリキュラムに沿って学ぶ。

【実務経験】

日本航空国際線客室乗務員歴2年間、ドイツに5年間滞在中、ビジネスマナー、日本語講師を2年間。西南学生大学、福岡女学院大学で就職講座・ビジネスマナー5年間。新入社員研修の講師として、福岡市役所、西鉄グループ、NTTドコモ、九州の高校などで務める。

【到達目標】

15回終了後には、新入社員研修のカリキュラムを習得して接客講師として立つこと出来る。
授業中に課題が出た時は、仲間とともに情報交換しながら解決することが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明・目的と心構えを聞いて、「自分なりの意見」が言えることが出来る。学生と社会人の違いを各自創意工夫して発表することが出来る。
2回目	接客の基本、接客5原則のひとつ「挨拶」の重要性を理解し、説明ができ実技指導が出来る。
3回目	コミュニケーションの大切さ、必要性を理解し説明ができるようになる。
4回目	ホスピタリティ業界における正しい身だしなみを行うことができる。さらに身だしなみにまつわる話を用意して話すことができる
5回目	お辞儀の仕方、入退室の仕方を復習して行うことができる。
6回目	接客の基本動作、立ち姿・座り方・お辞儀歩き方の総まとめを説明して行うことができる。
7回目	接客の応用動作、方向の指し示し方、案内の仕方、物の授受、名刺交換など理解して行うことができる。
8回目	中間テスト
9回目	敬語の復習と職場用語を理解して(練習問題)ロールプレイングができる。
10回目	電話応対、ビジネス電話の特性を理解して行うことができる。電話の慣用句の練習をして身に付ける。
11回目	総まとめロールプレイング
12回目	②社会的スキルを身に着けることができる(文章作成の実践)。
13回目	苦手なところのチェックリストを出し合い、補強作業。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業出席率と期末テスト
受講生へのメッセージ	残り半年間、有意義な時間にしていきたいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ビジネス英会話	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	bussines E-communication	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to greet and introduce yourself in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	自分や友達を紹介することができる。 You'll be able to introduce yourself and friends.
2回目	電話番号と電子メールアドレスを尋ねる You'll be able to ask for phone numbers and e-mail addresses.
3回目	部屋の物の名前が分かる。 You'll be able to name objects in the room.
4回目	職場内の場所について説明できる。 You'll be able to talk about workplace; ask for and give the locations of objects.
5回目	都市、国、大陸について話すことができる。 You'll be able to talk about cities, countries and continents.
6回目	出身地、国籍、第一言語、年齢など説明できる。 You'll be able to ask for and give information about place of origin, nationality, first language and age; describe people.
7回目	服や色について質問したり説明したりできるようになる。 You'll be able to ask about and describe clothing and colors
8回目	天気と季節について。物の所有者を見つける。 You'll be able to talk about the weather and seasons; find the owner of objects.
9回目	オフィス機器を識別することができる。 You'll be able to identify office equipments.
10回目	時間や状況の説明ができる。 You'll be able to ask for and tell time; ask about and describe current activities.
11回目	どのように仕事や学校に行くかについての質問や説明ができる。 You'll be able to ask colleagues questions; ask for and give information about how people go to work or school.
12回目	家族についてや日常生活について話せる。 You'll be able to talk about family members; describe daily and weekly routines.
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 – 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% , Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	
interchange	

科目名 (英)	ビジネス英会話	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
	bussines E-communication	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to greet and introduce yourself in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	自分や友達を紹介することができる。 You'll be able to introduce yourself and friends.
2回目	電話番号と電子メールアドレスを尋ねる You'll be able to ask for phone numbers and e-mail addresses.
3回目	部屋の物の名前が分かる。 You'll be able to name objects in the room.
4回目	職場内の場所について説明できる。 You'll be able to talk about workplace; ask for and give the locations of objects.
5回目	都市、国、大陸について話すことができる。 You'll be able to talk about cities, countries and continents.
6回目	出身地、国籍、第一言語、年齢など説明できる。 You'll be able to ask for and give information about place of origin, nationality, first language and age; describe people.
7回目	服や色について質問したり説明したりできるようになる。 You'll be able to ask about and describe clothing and colors
8回目	天気と季節について。物の所有者を見つける。 You'll be able to talk about the weather and seasons; find the owner of objects.
9回目	オフィス機器を識別することができる。 You'll be able to identify office equipments.
10回目	時間や状況の説明ができる。 You'll be able to ask for and tell time; ask about and describe current activities.
11回目	どのように仕事や学校に行くかについての質問や説明ができる。 You'll be able to ask colleagues questions; ask for and give information about how people go to work or school.
12回目	家族についてや日常生活について話せる。 You'll be able to talk about family members; describe daily and weekly routines.
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 – 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% , Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	
interchange	

科目名 (英)	ビバレッジ基礎 Beverage	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。 【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年（バー勤務）・JFEレストランドイツ滞在2年（レストラン・バー勤務）・レストランひらまつ2年（レストラン） ホテルオークラ福岡20年（レストラン勤務）							
【到達目標】 各国の歴史・文化を通じて知見を深める 〈具体的な目標〉 目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う 目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化							

授業計画・内容	
1回目	各種宴会の等のセッティング
2回目	レストランサービスの内容（お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進）を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容 （テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ）を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容（予約・解約・メニュー管理）を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容（料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー）を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容（食事の国際習慣・プロトコールの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装）を学び理解する事ができる
7回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
11回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来るようになる
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	フード&ビバレッジ基礎	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Food & Beverage	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】							
検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。							
【実務経験】							
ウエスティンホテル東京2年（バー勤務）・JFEレストランドイツ滞在2年（レストラン・バー勤務）・レストランひらまつ2年（レストラン）							
ホテルオークラ福岡20年（レストラン勤務）							
【到達目標】							
各国の歴史・文化を通じて知見を深める							
〈具体的な目標〉							
目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する							
目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う							
目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化							

授業計画・内容	
1回目	各種宴会の等のセッティング
2回目	レストランサービスの内容（お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進）を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容 （テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ）を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容（予約・解約・メニュー管理）を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容（料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー）を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容（食事の国際習慣・プロトコールの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装）を学び理解する事ができる
7回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
11回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来るようになる
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】	
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	フランス語 French Language	必修 選択	必修選択	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フランス語とフランス文化の入門:すぐ使える基礎の文法と語彙。前期では日常の言葉で後期ではエアライン業界に通じる言葉を得得することに目標しています。毎回フランス語の習得だけでなく、言語学習のコツやフランス社会の特徴についても解説していきます。							
【到達目標】 フランス語の音声表現技術を学びながら、基本的な言語表現を習得できる。フランスの文化や歴史を通じて異文化に対する興味関心を持ち、積極的に国際理解を進めることができる。							

授業計画・内容	
1回目	スタートアップ授業 授業の概要・到達目標 アルファベット綴りを理解できる。 言語学習の解説を行いフランス語に親しみを持つことができる
2回目	挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる フランスという国について理解を深めることができる
3回目	挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる フランスという国について理解を深めることができる
4回目	(私は～語で話します、私は～に住んでいます。彼は学生です、彼女は学生です。)という表現を理解出来る。 ヨーロッパにあるフランスという国の現状を知ることができる
5回目	(彼たちは、彼女たちは、être動詞)という表現を理解出来る。 フランス語園について深く知ることができる
6回目	(彼たちは、彼女たちは、être動詞)という表現を理解出来る。 フランス語園について深く知ることができる
7回目	(誰ですか?、私です) という表現を理解出来る。 フランスのカレンダーと仕事、生活について造詣を深めることができる
8回目	(美味しいです、簡単に感想を伝える、これは何ですか?)という表現を理解出来る。 バカンスについて知ることができる
9回目	(unとuneそしてdes)という表現を理解出来る。 フランス現地での買い物について知ることができる
10回目	(一つの靴、この靴)という表現を理解出来る。 食文化について理解を深めることができる
11回目	(一つの靴、この靴)という表現を理解出来る。 食文化について理解を深めることができる
12回目	(私は～として働きます、～を勉強します、～語で話せますか?)という表現を理解出来る。 フランスの主なお祝いごとについて知ることができる
13回目	(グループ1の動詞、否定文)という表現を理解出来る。 フランスの友達、ご近所との付き合い方について知ることができる
14回目	好き、大好き、嫌いという表現を理解出来る。
15回目	★評価週 期末テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブランディング Branding	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。 本校において、単にホテルオペレーションのトレーニング満足すること無く、収益を上げる為のマーケティングの基礎からその重要性を学び、商品売る事の仕組みを認識する様な指導をする。							
【到達目標】 学生が身近に接する広告キャンペーンや実際の事例からの実践を通じた学習を行う。自らがそれぞれのテーマに取り組み、調査研究した成果を発表する為に、 ①感じ ②考え ③記録 ④行動 (プレゼン) の学生自らの 研究心が醸成され、ホテルブランディングの構築方法を理解できる。							

授業計画・内容		
1回目	・講師自己紹介 学生に自己PR 年間の授業スタイル説明・何故ブランディングにマーケティングが必要かを知ることが出来る。	
2回目	・マーケティングについて学び、マーケティング応用の売れる仕組みを理解することが出来る。	
3回目	・マーケティングを構成する4つのPとは何かを理解する	
4回目	・商品に対する料金の決め方・客室(宿泊)料金に定価はあるのかを知ることが出来る。	
5回目	・市場と顧客の考え方について理解することが出来る。	
6回目	・マーケティングにおける販売促進活動とはどんなものかを理解することが出来る。	
7回目	・ブランディング化するホテルの多様性、形態・その事業特性を知ることが出来る。	
8回目	・ホテルの売上構成と、その要素について学ぶことが出来る。	
9回目	・ホテルの売上げを増やす方法について理解することが出来る。	
10回目	・AIDMAモデルとブランド戦略について学ぶことが出来る。	
11回目	・ホテルが考えるブランド戦略を知ることが出来る。	
12回目	・ホテルマーケティングとCSの連動について学ぶことが出来る。	
13回目	★評価週	期末テスト
14回目	★まとめ・追試/再試	・これからのホテルマーケティング
15回目	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できる様に する為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事	
評価方法	・課題レポート(プレゼン) 50% 期末試験結果 50%	
受講生への メッセージ	・マーケティングは時代の変化変貌の中で、絶え間なく進化していきます。5Gの時代、VRやARの時代に、私たちの生活も企業も、そして 国も、世界も 変化し続けています。 今を認識すると「同時に皆さんの10年後20年後を予測しながら、波に乗れる生き方をしま しょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・学生使用テキスト無し ・プリント配布 あるいはPPT表示による課題		

科目名 (英)	プロジェクトマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	web marketing management	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】ホテルコンシェルジュやブライダルプランナーの新規接客経験を持つ教員が、ホテルでの広報経験を活かし、マーケティングとは何かを理解し、日々の生活の中でマーケティングを意識することが出来るようなヒントを与える							
【実務経験】 ホテルコンシェルジュやブライダルプランナーの新規接客経験							
【到達目標】 「モノを売る」視点を身に付ける。特別なことではなく日頃からPRを意識した視点をもてるようになる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 自己紹介=自分を売る 効果的な自己紹介の仕方を学びとることが出来る	
2回目	コミュニケーション PRする話し方のスキルを学びとることが出来る	
3回目	マーケティングとは何かを学びとることが出来る	
4回目	マーケティングリサーチ 情報収集が出来る	
5回目	発表① 調査した内容を発表することが出来る	
6回目	セグメンテーション戦略 顧客層絞り込みについて学びとることが出来る	
7回目	ブランド戦略 ブランドの歴史とコンセプトを学び取ることが出来る	
8回目	PR戦略 広報活動の必要性と、手段、効果について学びとることが出来る	
9回目	異業種マーケティング 広い視野で日頃からアンテナをはることが出来る	
10回目	飲食店マーケティング 身近な飲食店のマーケティングから学びとることが出来る	
11回目	好きを売る 取材して発表することが出来る	
12回目	発表② 調査した内容を発表することが出来る	
13回目	人を売る 「人と人とを結びつけること」についてを学びとることが出来る	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	2回の発表や各課題が50点、テストが50点	
受講生への メッセージ	マーケティングは難しいというイメージをもっている方もご安心を。身近なマーケティングを学ぶことで、日々の視点が変わりビジネスへの考え方が変わります。楽しいをモットーに「へえ」と「なるほど」という気付きを大切にしていきます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント(オリジナル)		

科目名 (英)	フロマージュ解説 Fromage commentary	必修 選択	必修選択	年次	4	担当教員	
	学科・コース ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
ワインや欧州の食文化に密接な関係のフロマージュ(チーズ)について基本的概念を学ぶ。							
【到達目標】							
①フロマージュのそれぞれの地方や特色について基礎知識を身に付ける。							

授業計画・内容		
1回目	チーズの種類、タイプ別のチーズの特徴、チーズの旬を学び造詣を深める	
2回目	タイプ別チーズの特徴① フレッシュタイプ 学び造詣を深める	
3回目	タイプ別チーズの特徴② 白カビタイプ 学び造詣を深める	
4回目	タイプ別チーズの特徴③ 青カビタイプ 学び造詣を深める	
5回目	タイプ別チーズの特徴④ ハード セミハードタイプ 学び造詣を深める	
6回目	タイプ別チーズの特徴⑤ ウォッシュ シェパールタイプ 学び造詣を深める	
7回目	チーズの味わい方、食材との組み合わせ、料理への活用を学び造詣を深める	
8回目	チーズプラトーとは 道具の使い方を学び 実践できるようになる	
9回目	基本カットの実習 チーズの保存方法について学び造詣を深める	
10回目	チーズとワインの関係性について学び造詣を深める①	
11回目	チーズとワインの関係性について学び造詣を深める②	
12回目	チーズとワインの関係性について学び造詣を深める③	
13回目	フロマジェについて学び造詣を深める	
14回目	★評価週	学んだことをレポート作成
15回目		振り返り
準備学習 時間外学習	フロマージュ興味を持って取り組んでください。	
評価方法	レポートにて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	フロントシステムⅡ Front system practice	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界にて接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる ※実務経験 ホテル3年、受付・サービス12年の実務経験あり。専門学校の非常勤講師として3年。							
【到達目標】 ①TAP検定合格に向けて基本的な操作を覚え、時間を意識して実施することができる。②フロント実習室を活用して、お客様と会話をしながら端末の操作ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる	
2回目	ホテルの心得確認、パソコンとTAPシステムの確認と理解できる	
3回目	フロント 業務(4 つ) を理解できる	
4回目	TAPシステムをフロントオペレーションとして行うことを理解できる	
5回目	フロント受付の電話応対ができるようになる	
6回目	フロント受付の電話応対を確認し、TAPシステムと操作と同時に行うことを理解し、実践できる	
7回目	フロント:ベルマン・ドアマンの業務のTAPシステム活用を理解できる	
8回目	フロント受付対応を理科し、実践できる	
9回目	フロント 受付対応を理科し、 TAPシステムを活用できる	
10回目	フロントオフィス業務を理解し、TAPシステムを活用できる	
11回目	フロント業務:ケーススタディ基本ができるようになる	
12回目	フロント業務:ケーススタディ応用ができるようになる	
13回目	評価対策、確認実践をします	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ	
準備学習 時間外学習	・ホテル心得は、全回を通して、日頃より意識し、身に付けていく ・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく	
評価方法	・筆記30%、実習試験70%(ロールプレイング)	
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学び、実践してください	
【使用教科書・教材・参考書】		
・学校テキスト		

科目名 (英)	フロントシステムⅡ Front system practice	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界にて接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる ※実務経験 ホテル3年、受付・サービス12年の実務経験あり。専門学校の非常勤講師として3年。							
【到達目標】 ①TAP検定合格に向けて基本的な操作を覚え、時間を意識して実施することができる。②フロント実習室を活用して、お客様と会話をしながら端末の操作ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる	
2回目	ホテルの心得確認、パソコンとTAPシステムの確認と理解できる	
3回目	フロント 業務(4 つ) を 理解できる	
4回目	TAPシステムをフロントオペレーションとして行うことを理解できる	
5回目	フロント受付の電話対応ができるようになる	
6回目	フロント受付の電話対応を確認し、TAPシステムと操作と同時に行うことを理解し、実践できる	
7回目	フロント:ベルマン・ドアマンの業務のTAPシステム活用を理解できる	
8回目	フロント受付対応を理科し、実践できる	
9回目	フロント 受付対応を 理科し 、 TAPシステムを 活用できる	
10回目	フロントオフィス業務を理解し、TAPシステムを活用できる	
11回目	フロント業務:ケーススタディ基本ができるようになる	
12回目	フロント業務:ケーススタディ応用ができるようになる	
13回目	評価対策、確認実践をします	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ	
準備学習 時間外学習	・ホテル心得は、全回を通して、日頃より意識し、身に付けていく ・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく	
評価方法	・筆記30%、実習試験70%(ロールプレイング)	
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学び、実践してください	
【使用教科書・教材・参考書】		
・学校テキスト		

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Study of Hospitality	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 リティとサービスの違いを説明することができるようになる。							
③ホスピタリティ							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:講義の説明　動画を視聴し「NOと言わないサービス」を理解することができる	
2回目	日本のおもてなしから、サービスとホスピタリティの違いと語源を理解することができる	
3回目	「ザ・リッツカールトンクレド」と「ミスティーク」を理解し、理念浸透とチームでお客様を把握することの重要性を理解することができる	
4回目	ホスピタリティの実践① 笑顔の作り方、身だしなみ、立ち居振る舞いなどプロとしての雰囲気づくりを身につけることができる	
5回目	ホスピタリティの実践② 話し方、言葉づかいなどプロとしての対応力を身につけることができる	
6回目	ホスピタリティの実践③ 効果的な「傾聴」を理解し実践することができる	
7回目	顧客ロイヤリティとホスピタリティの関係性を理解することができる	
8回目	組織と社員(従業員)のホスピタリティ、ゴールデンサークル理論から学ぶリーダーシップを理解することができる	
9回目	ご高齢や障がいのある方への対応について理解することができる	
10回目	異文化コミュニケーション、「やさしい日本語」を学び、異文化適応力を身につけることができる	
11回目	クレームが起きる原因とお客様の心理を理解し対応することができる	
12回目	ハラスメントやコンプライアンスについて正しく理解することができる	
13回目	実践レポート作成	
14回目	★評価週	※レポート提出日
15回目		前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけてきます。 また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積むなど、感性を磨いてください。	
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」(2, 000字以上/Word作成)・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートですので、必ず期限内に提出すること。 ※レポート作成にあたって、書き方やWordの書式設定など細かいルールがあります。講義の中で説明しますのでルールはしっかり守ること。	
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会		
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著 グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会		

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Study of Hospitality	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 リティとサービスの違いを説明することができるようになる。							
③ホスピタ							

授業計画・内容	
1回目	授業の目的,「なりたい自分」像の可視化, ビジネスマナーの必要性を理解して, 習得に向けて高い意欲を持つことができる
2回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる① 身だしなみ, 挨拶, お辞儀, 姿勢(立位, 座位), 所作
3回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる② 敬語, 美しい言葉遣い
4回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる③ 聞き取りやすい発声, アナウンス, 他者を尊重する意見の述べ方
5回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる④ 職場での心構え, 目上の人(上司, 先輩)や同僚との接し方
6回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身に付けることができる⑤ 目上の人(上司, 先輩)に対する言葉遣い, 報連相の仕方
7回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身に付けることができる⑥ 名刺交換, 電話応対
8回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身に付けることができる⑦ Eメール, 書簡, 冠婚葬祭マナー
9回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身に付けることができる⑧ レポート, 字数制限内でのわかりやすく美しい文章作成
10回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身に付けることができる⑨ お茶・茶菓の提供
11回目	ユニバーサル社会の考え方について理解し, 様々な事情に応じた接し方や介助の方法を身につけることができる
12回目	誠意の伝わるビジネスマナーを実践できる① 一般的なビジネスシーンをシミュレーションしたロールプレイ
13回目	誠意の伝わるビジネスマナーを実践できる② イレギュラーなビジネスシーン(トラブル・アクシデント等)をシミュレーションしたロールプレイ
14回目	★評価週
15回目	前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには, 日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけてきます。また, ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積むなど, 感性を磨いてください。
評価方法	期末テスト
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており, 新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ, 人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう, 様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会	
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著	
グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Study of Hospitality	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 リティとサービスの違いを説明することができるようになる。							
③ホスピタリティ							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介および就職活動の進捗紹介、 授業の目的と就職する意味を理解できる、 自身の目指す未来像から今期の目標を定めることができる	
2回目	受験先へのエントリーおよび応募書類の作成方法と提出マナーについて学ぶことができる	
3回目	業界および企業研究のポイント、企業と学生の視点の違いと重視すべきポイントを理解することができる。	
4回目	自己分析の必要性を理解して、ポイントを抑えた客観的な自己分析の方法を学ぶことができる(自分史の作成と経験の分析)	
5回目	様々な角度から自己を客観的に捉え、長所や特技を抽出できる ●エゴグラム(性質、他者との関わり方、集団での立ち位置)	
6回目	PREP法に則り、わかりやすく説得力のある表現を実践することができる ●記述 ●口述 ●リフレーミング	
7回目	志望企業や職種を意識して、経験や長所から基本的な自己PRを作成することができる ●企業研究 ●趣味・特技	
8回目	自己分析・業界研究・企業研究を踏まえて、企業への熱意と将来の活躍を感じさせる説得力のある志望動機を作成することができる	
9回目	基本的な履歴書を作成し、添削を受けることができる	
10回目	面接試験の重要性を理解し、ポイントを理解できる ●マナー ●表情 ●立ち居振る舞い ●発声 ●対話力 ●傾聴姿勢	
11回目	これまでの経験、自身の抱くホスピタリティや長所、趣味・特技などを踏まえた自分らしい自己PRを口述できる ●活舌	
12回目	グループ面接のポイントを理解し、練習と振り返りができる	
13回目	グループディスカッションのポイントを理解し、練習と振り返りができる。	
14回目	★評価週	テスト
15回目		前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけてきます。また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積むなど、感性を磨いてください。	
評価方法	期末テスト	
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会		
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著		
グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会		

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Study of Hospitality	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 リティとサービスの違いを説明することができるようになる。							
③ホスピタリティ							

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明・目的と心構えを聞いて、「自分なりの意見」が言えることが出来る。学生と社会人の違いを各自創意工夫して発表することが出来る。
2回目	接遇の基本、接遇5原則のひとつ「挨拶」の重要性を理解し、説明ができ実技指導が出来る。
3回目	コミュニケーションの大切さ、必要性を理解し説明ができるようになる。
4回目	ホスピタリティ業界における正しい身だしなみを 行うことができる 。さらに身だしなみにまつわる話を用意して話すことができる
5回目	お辞儀の仕方、入退室の仕方を復習して行うことができる。
6回目	接客の基本動作、立ち姿・座り方・お辞儀歩き方の総まとめを説明して行うことができる。
7回目	接客の応用動作、方向の指し示し方、案内の仕方、物の授受、名刺交換など理解して行うことができる。
8回目	中間テスト
9回目	敬語の復習と職場用語を理解して(練習問題)ロールプレイングができる。
10回目	電話対応、ビジネス電話の特性を理解して行うことができる。電話の慣用句の練習をして身に付ける。
11回目	総まとめロールプレイング
12回目	②社会的スキルを身に着けることができる(文章作成の実践)。
13回目	苦手なところのチェックリストを出し合い、補強作業。
14回目	★評価週
15回目	テスト
	前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけてきます。また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積むなど、感性を磨いてください。
評価方法	期末テスト
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会	
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著	
グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会	

科目名 (英)	ホテル・観光概論 Introduction to the Study of Hotel	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。 その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。 全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。							
【到達目標】 “日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。 日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる 福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる 外資系ホテルの特徴を知ることができる 新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる ”							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。	
2回目	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。	
3回目	ホテルには系列があることを知ることができる。	
4回目	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。	
5回目	東京の主要なホテルを知ることができる。	
6回目	東京ディズニーランドのホテルと横浜のホテルを知ることができる。	
7回目	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。	
8回目	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。	
9回目	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。	
10回目	ホテルのレストランが高い理由を理解することができる。	
11回目	いいサービスについて理解することができる。	
12回目	コロナに対するホテルの対策を知ることができる。	
13回目	ホテルの組織を知ることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目		期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。	
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。	
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。	
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	ホテル・観光概論 Introduction to the Study of Hotel	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。 その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。 全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。							
【到達目標】 “日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。 日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる 福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる 外資系ホテルの特徴を知ることができる 新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる ”							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。	
2回目	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。	
3回目	ホテルには系列があることを知ることができる。	
4回目	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。	
5回目	東京の主要なホテルを知ることができる。	
6回目	東京ディズニーランドのホテルと横浜のホテルを知ることができる。	
7回目	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。	
8回目	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。	
9回目	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。	
10回目	ホテルのレストランが高い理由を理解することができる。	
11回目	いいサービスについて理解することができる。	
12回目	コロナに対するホテルの対策を知ることができる。	
13回目	ホテルの組織を知ることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目		期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。	
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。	
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。	
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長崎県内のビジネスホテルにて勤務。フロント業務から宿泊管理まで、業務全般の経験がある専任講師がホテル業務に必須となっているホテルビジネス実務検定試験(H検)の取得を目指して学習を進めていく。教科書(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問題を参考に、要点を絞り検定に向けて準備を行う。							
【到達目標】 実務シーンをイメージしながら座学の知識を身につけることができる。 ホテルビジネス実務検定(H検)認定を目指します。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 講師自己紹介 教科書第一節 世界の観光動向・世界の宿泊産業について理解ができる。	
2回目	第一節 日本の観光動向・日本の宿泊産業について理解ができる。	
3回目	第二節 ホテル産業について理解することができる。	
4回目	第二節 業界のトレンドについて理解ができる。	
5回目	第二節 組織について理解ができる。	
6回目	第三節 国際儀礼について理解ができる。	
7回目	第三節 ホスピタリティマインドを身につけることができる。	
8回目	第三節 接客用語の基礎を習得できるようになる。	
9回目	第三節 関連団体と法規について理解ができる。	
10回目	第四節 シーンに応じた会話表現を身につけることができる。	
11回目	総復習	
12回目	模擬試験1	
13回目	模擬試験2	
14回目	★評価週	期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを、ロールプレイをしながら練習しましょう。 それぞれの知識について、それがなぜ必要なのか・大切なのか、背景を考慮しながら学習していきましょう。	
評価方法	◆小テスト(30%) ◆定期テスト(70%)	
受講生へのメッセージ	決して簡単ではない学習内容と、検定合格を目指す授業ですが、業界の即戦力人材として必要な知識ばかりです。みんなで興味を膨らませながら、楽しく勉強していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ホテルビジネス 基礎編		

科目名 (英)	ホテルマネジメント Hospitality Management	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルパシフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に所属した。 2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として 株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導を行い、数値分析問題が解ける様に指導実施する。							
【到達目標】 ホテル・旅館の基本的な仕組みを学び、ホテルがどのようなことに取り組んでいるのか？また「どうやって売り上げをあげていくのか」や「残業しないで良い仕事のやりかたとは？」、「顧客満足度を高めるにはどうしたらよいか」などホテルマネジメントに必要な基礎知識を習得することができる。 単にサービスが好き、おもてなしが好き、だけでなく、基礎から解るホテル旅館の数値分析を知ることによって経営の一端を理解し、商いの基本を学び取る。簡単な分析問題に解答できる事が出来る							

1回目	ホテル旅館の特色　他業種と異なる所を理解し、ホテルで利益を出すことがどの様な仕組みになっているかを理解することが出来る	
2回目	不動産投資からみたホテル旅館の事業の特性を知り、収入と支出の宿命を理解することが出来る　（所有と経営と運営の分離）	
3回目	ホテルの売上計上の仕組み、経理会計組織とその役割が判るようになる	
4回目	ホテルマネジメントとホテルマーケティングとホテル会計の関係性を理解することで、学習の整理が出来るようになる	
5回目	ホテル旅館の数値分析指標と問題と解答解説練習で分析に数値が必要なことが判る	
6回目	倒産したホテル損益と利益の出ている旅館損益の比較することで利益体質の内容を読み取ることが出来るようになる	
7回目	組織的な情報管理　PMSとCRMの基本的な役割を学び、その為の必要な情報が理解出来るようになる	
8回目	サービス産業の生産性向上の方策を考え、宿泊業の将来での学びのあり方を考える事が出来る	
9回目	ホテルマーケティングとは何か？　時代変化に合わせたマーケティングの新しい基本を知ることが出来る	
10回目	ホテルマーケティングとCSへの連動　（顧客満足にデジタルをどの様に活用するか？）コロナ禍で顧客の価値が変わった事を認識出来る	
11回目	MICEマーケティングの現状を知る　事で　ホテル業が景気や国際情勢と深い関係があることを知る事が出来る	
12回目	デジタルマーケティング　ウェブマーケティング　未来のホテル業を予測する　事で　学びの方向がみえる様になる	
13回目	ホテル旅館のM&A　ホテル運営に関する分析手法　ポジショニング分析　競合ペネストレーション分析　など知ることによって他業種との違いを認識できる	
14回目	★評価週	ホテルマネジメントやマーケティングに関連した筆記試験　前期内の小テストから抜粋問題
15回目	★まとめ・追試/再試	追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	日常のニュースなどへのアンテナを高め経済に関心を高め、その中でホテル観光業の実態を知り、自ら将来のホテル観光業を考える事が大切です。学習は学校内だけにあらず、日常の学生の生活の中で感じ、考え、記録し、行動する事が大切です。 特に昨今はホテルを不動産価値とした判断で買収や合併（M&A）の報道が多発しています。そのような記事に目を向け、企業存続の道筋などを知ることが大きな学習になる	
評価方法	筆記試験100％　追試再試はレポート提出	
受講生へのメッセージ	日常のニュースなどへのアンテナを高め経済に関心を高め、その中でホテル観光業の実態を知り、自ら将来のホテル観光業を考える事が大切です。学習は学校内だけにあらず、日常の学生の生活の中で感じ、考え、記録し、行動する事が大切です。 ペレーションは大事です。さらに自らが経営（マネジメント）してみたら、どうなるか？を考える習慣をつけると面白い発想が出てきます。スタートアップの時代に自分が会社を起こすという発想が学習効果を高めます。　授業ではあなたがオーナー店長だったら何を？　と課題も楽しみながら進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業教材は　講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。　また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ」、自らが自調・（情報収集して調べ）」自考・（調べた結果を自分で考える）　事が出来る様な授業と致したい。		

科目名 (英)	ホテルマネジメント検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル業務に必要とされる知識を得る為、「ホテルビジネス実務検定試験 (H検) マネジメントレベル」の取得を目指して学習します。 テキスト(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問を参考に、要点を絞り検定に向け学習します。							
【到達目標】 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベルに合格する事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習をして理解できる
2回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習復習をして理解できる
3回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
4回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
5回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
6回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
7回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
8回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
9回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復習をして理解できる
10回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復をして理解できる
11回目	過去問を解く
12回目	過去問を解く
13回目	過去問を解く
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	毎授業に「ホテルビジネス 基礎編」のテキストを持ってくる。 授業の前までに次回授業でするテキストの内容を読んで予習をし、分からない用語など調べておく。 宿題が出た場合は、期日までに必ずしてきましょう。 宿題や小テストをまとめるファイルを準備しておいて下さい。
評価方法	後期試験の点数
受講生への メッセージ	テキストの用語など難しく感じると思います。 分からない事は気軽に聞いてください。 90分の座学ですので、睡眠を十分にとり、授業中寝ないように体調管理に気をつけて下さい。 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベル取得を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ホテルビジネス 基礎編。 過去問プリン	

科目名 (英)	ホテルマネジメント検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル業務に必要とされる知識を得る為、「ホテルビジネス実務検定試験 (H検) マネジメントレベル」の取得を目指して学習します。 テキスト(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問を参考に、要点を絞り検定に向け学習します。							
【到達目標】 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベルに合格する事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習をして理解できる
2回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習復習をして理解できる
3回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
4回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
5回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
6回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
7回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
8回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
9回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復習をして理解できる
10回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復をして理解できる
11回目	過去問を解く
12回目	過去問を解く
13回目	過去問を解く
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	毎授業に「ホテルビジネス 基礎編」のテキストを持ってくる。 授業の前までに次回授業でするテキストの内容を読んで予習をし、分からない用語など調べておく。 宿題が出た場合は、期日までに必ずしてきましょう。 宿題や小テストをまとめるファイルを準備しておいて下さい。
評価方法	後期試験の点数
受講生への メッセージ	テキストの用語など難しく感じると思います。 分からない事は気軽に聞いてください。 90分の座学ですので、睡眠を十分にとり、授業中寝ないように体調管理に気をつけて下さい。 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベル取得を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ホテルビジネス 基礎編。 過去問プリン	

科目名 (英)	ホテル概論 Introduction to the Study of Hotel	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。 その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。 全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。							
【到達目標】 “日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。 日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる 福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる 外資系ホテルの特徴を知ることができる 新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる ”							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。	
2回目	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。	
3回目	ホテルには系列があることを知ることができる。	
4回目	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。	
5回目	東京の主要なホテルを知ることができる。	
6回目	東京ディズニーランドのホテルと横浜のホテルを知ることができる。	
7回目	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。	
8回目	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。	
9回目	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。	
10回目	ホテルのレストランが高い理由を理解することができる。	
11回目	いいサービスについて理解することができる。	
12回目	コロナに対するホテルの対策を知ることができる。	
13回目	ホテルの組織を知ることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目		期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。	
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。	
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。	
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	マーケティング I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Marketing1	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
ホテル旅館における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ホテル旅館のリーダーやマネジメント職を見据え、自身でサービスをより高い価値として考察し、構築し、最大化して提供するスキルを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	サービスマーケティングを活用した接客サービスの基本を学び	
2回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し説明できるようになる	
3回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し、実際の提供するテクニックを身に付ける事ができる	
4回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる①	
5回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる②	
6回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる①	
7回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる②	
8回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる③	
9回目	ホテルサービスにおけるデジタルと人的サービスの共存について概要を学び、説明することができる	
10回目	ホテル旅館における労働生産性についての基本を学び説明ができる	
11回目	ホテル旅館における労働生産性についての活用方法を学び説明ができる	
12回目	ホテル旅館における労働生産性が生むパーソナルサービスの影響を説明することができる	
13回目	試験前のこれまでの授業内容の振り返りの実施	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	試験のフィードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	宿泊業界のコストとリソースの観点からマネジメントができるサービス人材を目指します。自身が宿泊業のサービス商品をよりキャリアアップさせる武器として身に付けられるように半年間一緒に学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	マーケティングⅡ Hotel MarketingⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。 本校において、単にホテルオペレーションのトレーニング満足すること無く、収益を上げる為のマーケティングの基礎からその重要性を学び、商品売る事の仕組みを認識する様な指導をする。							
【到達目標】 学生が身近に接する広告キャンペーンや実際の事例からの実践を通じた学習を行う。自らがそれぞれのテーマに取り組み、調査研究した成果を発表する為に、 ①感じ ②考え ③記録 ④行動 (プレゼン) の学生自らの 研究心が醸成され、ホテルマーケティングの手法を分析判断することが出来る。							

授業計画・内容		
1回目	・講師自己紹介 学生に自己PR 年間の授業スタイル説明・何故マーケティングが必要かを知ることが出来る。(課題)	
2回目	・マーケティングについて学び、マーケティング応用の売れる仕組みを理解することが出来る。(課題)	
3回目	・マーケティングを構成する4つのPとは何かを理解する(5月課題)	
4回目	・商品に対する料金の決め方・客室(宿泊)料金に定価はあるのかを知ることが出来る。	
5回目	・市場と顧客の考え方について理解することが出来る。	
6回目	・マーケティングにおける販売促進活動とはどんなものかを理解することが出来る。(6月課題)	
7回目	・多様化するホテル形態・その事業特性を知ることが出来る。	
8回目	・ホテルの売上構成と、その要素について学ぶことが出来る。	
9回目	・ホテルの売上げを増やす方法について理解することが出来る。	
10回目	・AIDMAモデルとブランド戦略について学ぶことが出来る。	
11回目	・ホテルが考えるブランド戦略を知ることが出来る。(7月課題)	
12回目	・ホテルマーケティングとCSの連動について学ぶことが出来る。(夏休み課題)	
13回目	★評価週	期末テスト
14回目	★まとめ・追試/再試	・これからのホテルマーケティング
15回目	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できる様に する為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事	
評価方法	・課題レポート(プレゼン) 50% 期末試験結果 50%	
受講生への メッセージ	・マーケティングは時代の変化変貌の中で、絶え間なく進化していきます。5Gの時代、VRやARの時代に、私たちの生活も企業も、そして 国も、世界も 変化し続けています。 今を認識すると「同時に皆さんの10年後20年後を予測しながら、波に乗れる生き方をしま しょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・学生使用テキスト無し ・プリント配布 あるいはPPT表示による課題		

科目名 (英)	マナー・プロトコル3級 Manner Protocol(3rd level)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 亜紀
学科・コース	IR・ホテル&リゾート科ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく”身につける”ことを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすい工夫を凝らした講義内容としています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコル検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。							
【実務経験】 NPO法人日本マナー・プロトコル協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接遇マナー研修担当。平成21年起業 講師業Cherry代表、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコル」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。							
【到達目標】 マナープロトコル検定3級合格を目指すことが出来る。学んだことを活かし、自身のマナーのレベルを上げ、社会人意識を高めることが出来る。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。							

授業計画・内容		
1回目	和食のマナー: DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことが出来る。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することが出来る。	
2回目	洋食のマナー: DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことが出来る。洋食をいただく場面でも自信を持って臨めるようになる。実際のカタラーリ、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することが出来る。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることが出来る。	
3回目	和室での作法: 和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室でお茶の入れ方、出し方、いただき方を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。第5章まとめテストを行う。	
4回目	「冠」のしきたり: スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立ち、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章まとめテストを行う。	
5回目	「婚」のしきたり: スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来必要になる社会人としての知識を身に付けることができる。第8章まとめテストを行う。	
6回目	復習: ここまでの内容の問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認するこが出来る。問題を解く力をつけて、中間テストに臨むことが出来る。	
7回目	中間テスト、解説、振り返り	
8回目	「葬」のしきたり: スライドでを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第9章まとめテストを行う。	
9回目	「祭」のしきたり: スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第10章まとめテストを行う。	
10回目	試験対策①: 3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
11回目	試験対策②: 3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
12回目	試験対策③: 3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
13回目	期末テスト	
14回目	★評価週	期末テスト振り返り
15回目	★まとめ・追試/再試	マナー・プロトコル3級検定試験
準備学習 時間外学習	行ったところまで問題集を使用し復習する	
評価方法	期末試験	
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコル(国際儀礼)について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。後半は、模擬問題を解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコル検定3級」合格を指して一緒に頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
「マナー＆プロトコルの基礎知識」、「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会		

科目名 (英)	マナープロトコール2級	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	Manner Protocol(2rd level)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 まずは1年生で学んだ内容を問題集を使用し解答し、さらにテキストで振り返り復習することで基礎理解を深めます。その後も模擬問題を繰り返し解くことで試験問題に慣れ、応用問題にも対応できるように受験対策をしっかりと行い、自信を持って検定試験に臨めるよう指導していきます。							
【実務経験】 NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチ学館委託講師20年、接客マナー研修担当。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接客」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。							
「マナー・プロトコール2級」の検定試験合格を目指すことが出来る。多くのホテルスタッフが受験するレベルの資格を目指すことで、マナーに対する興味や意識を高く持つことが出来る。日常生活の中にも学んだマナーの知識を取り入れることで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。更に資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。							

授業計画・内容		
1回目	第1章マナーの歴史と意味、第2章国際人としてのプロトコールの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第1章、第2章まとめテストを行う。	
2回目	第3章社会人に必要なマナー、第4章ビジネスシーンのマナーの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第3章、第4章まとめテストを行う。	
3回目	第5章食事のマナーの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第5章のまとめテストを行う。第5章までの問題をまとめて解いて、理解できているか確認してみる。	
4回目	第7章「冠」のしきたり、第8章「婚」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第7章、第8章のまとめテストを行う。	
5回目	第9章「葬」のしきたり、第10章「祭」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第9章、第10章のまとめテストを行う。	
6回目	中間テスト(マナー・プロトコール検定試験3級の範囲)	
7回目	中間テスト振り返り お酒のマナー：お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことが出来る。問題集の該当問題を解き、理解を深める。第6章まとめテストを行いう。	
8回目	試験対策①：3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
9回目	試験対策②：3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
10回目	試験対策③：3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
11回目	試験対策④：2級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
12回目	試験対策⑤：2級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
13回目	期末テスト	
14回目	★評価週	期末テスト振り返り
15回目	★まとめ・追試/再試	マナー・プロトコール3級・2級検定試験
準備学習 時間外学習	問題集を復習する。	
評価方法	期末テスト	
受講生への メッセージ	1年生の時に座学、DVD視聴、実践等を通して学んだマナー・プロトコール知識を活かし、更に上の資格を目指します。「マナー・プロトコール検定試験2級」という資格を取得することで目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で自信を持って知識を活かすことができるでしょう。模擬問題を繰り返し解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定試験2級」目を指して一緒に頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
「マナー&プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会		

科目名 (英)	マナープロトコール2級	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Manner Protocol(2rd level)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 まずは2年生で学んだ内容を問題集を使用し解答し、さらにテキストで振り返り復習することで基礎理解を深めます。その後も模擬問題を繰り返し解くことで試験問題に慣れ、応用問題にも対応できるように受験対策をしっかりと行い、自信を持って検定試験に臨めるよう指導していきます。							
【実務経験】 NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接客マナー研修担当。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接客」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。							
「マナー・プロトコール2級」の検定試験合格を目指すことが出来る。多くのホテルスタッフが受験するレベルの資格を目指すことで、マナーに対しての興味や意識を高く持つことが出来る。日常生活の中にも学んだマナーの知識を取り入れることで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。更に資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。							

授業計画・内容		
1回目	第1章マナーの歴史と意味、第2章国際人としてのプロトコールの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第1章、第2章まとめテストを行う。	
2回目	第3章社会人に必要なマナー、第4章ビジネスシーンのマナーの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第3章、第4章まとめテストを行う。	
3回目	第5章食事のマナーの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第5章のまとめテストを行う。第5章までの問題をまとめて解いて、理解できているか確認してみる。	
4回目	第7章「冠」のしきたり、第8章「婚」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第7章、第8章のまとめテストを行う。	
5回目	第9章「葬」のしきたり、第10章「祭」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。記述問題対策としてキーワードの復習問題を解く。第9章、第10章のまとめテストを行う。	
6回目	中間テスト(マナー・プロトコール検定試験3級の範囲)	
7回目	中間テスト振り返り お酒のマナー：お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことが出来る。問題集の該当問題を解き、理解を深める。第6章まとめテストを行う。	
8回目	試験対策①：3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
9回目	試験対策②：3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
10回目	試験対策③：3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
11回目	試験対策④：2級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
12回目	試験対策⑤：2級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
13回目	期末テスト	
14回目	★評価週	期末テスト振り返り
15回目	★まとめ・追試/再試	マナー・プロトコール3級・2級検定試験
準備学習 時間外学習	問題集を復習する。	
評価方法	期末テスト	
受講生への メッセージ	1年生の時に座学、DVD視聴、実践等を通して学んだマナー・プロトコール知識を活かし、更に上の資格を目指します。「マナー・プロトコール検定試験2級」という資格を取得することで目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で自信を持って知識を活かすことができるでしょう。模擬問題を繰り返し解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定試験2級」目を指して一緒に頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
「マナー&プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会		

科目名 (英)	ユニバーサルサービス Comprehensive Service(for disaled person)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ユニバーサルマナー協会認定講師による本校向けに企画・実施するプログラムです。 より実践的なユニバーサルマナーを理解するために。座学での授業のみならず、車いすや 高齢者体験器具などを用いた体験型の授業を実施します。 業界に欠かせない、高齢者や障害者、性的マイノリティなど、多様な方々への向き合い方を身に付け、 あらゆる方に気持ちの良いサービスを提供できる人材を育成します。							
【到達目標】 高齢者や障害者、性的マイノリティ等、多様な方々へ向き合うマインドを身に着ける。 上記、多様な方々への理解をもって、適切なお声がけやサポート、気持ちの良いサービスを実践できる。 ユニバーサルマナー検定2級合格に向けての知識と技術を身に付けることができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・ユニバーサルマナー検定3級の復習を行い、多様な方との <u>基本的な向き合い方</u> や知識を改めて理解する。	
2回目	基礎概論：身体障害者の生活と心理を理解することが出来る ※到達度チェックテストの解説	
3回目	基礎概論：知的障害者の生活と心理を理解することが出来る	
4回目	基礎概論：精神障害者の生活と心理を理解することが出来る	
5回目	基礎概論：高齢者の生活と心理を理解することが出来る	
6回目	応用：職場内における精神障害・発達障害者との向き合い方について学び、より実践的なサポート方法を理解する。	
7回目	応用：パラリンピック及び障害者スポーツについて 動画等参照しながら、障害者が考えている「リアル」を知る。	
8回目	中間テスト実施	
9回目	実技研修：車いす使用者への適切なサポートを実践できる ※車いすを使用します。	
10回目	実技研修：視覚障害者への適切なサポートを実践できる	
11回目	実技研修：聴覚障害者への適切なサポートを実践できる	
12回目	実技研修：高齢者への適切なサポートを実践する	
13回目	復習およびまとめ 多様な方との向き合い方について基本的な知識のみならず、より実践的な向き合い方を学ぶことが出来る。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	ユニバーサルマナー検定(2級)に合格(100%)	
受講生へのメッセージ	昨今、業界を問わずキーワードとされる「ダイバーシティ(多様性)」への理解は、まず「知ること」から始まります。社会に出て活躍する自身の姿、多様な方へ向き合い、そして支え合うことのできる豊かな未来を想いながら、本講義を受講いただければ幸いです。	
【使用教科書・教材・参考書】		
適宜配布します。		

科目名 (英)	レストランサービス演習 I Restaurant service training	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
【実務経験】 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技試験官							
【目標到達】 社会で通用する技術と心構えの習得 〈具体的な目標〉 目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る 目標③行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る							

授業計画・内容	
1回目	挨拶・歩行動作・離着席時の補助が出来る
2回目	入店からゲスト・ホストを考慮した行動と椅子の離着席・溢さない水の注ぎ方・姿勢・足の運び方が出来る
3回目	シルバーの名称・説明とサーバーの使用が出来る
4回目	入店からメニューのお勧め・注文品の復唱・姿勢・言葉遣い・シルバーセット・溢さないコーヒーの注ぎ方等が出来る
5回目	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したバッシング(片づけ)・トレイの使用方法等が出来る
6回目	サービス観点に基づき中間実技試験
7回目	知識の確認と技術習得の復習
8回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓が出来る
9回目	12分制限時間内での課題終了が出来る
10回目	12分制限時間内での課題終了が出来る
11回目	9分制限時間内での課題終了が出来る
12回目	9分制限時間内での課題終了が出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	期末テスト
	テスト振り返り
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service certification	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容	
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストランマネジメントⅠ	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant management	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】							
実際の経験と手法を基に基礎から体系的に学んでいきます。							
【実務経験】							
レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【目標到達】							
成果を上げる為の考え方の習得							
目標①レストランマネジメントの全体像の把握							
目標②同業他社と競合他社を把握しマネジメント能力を高めていく							
目標③市場の店舗から売上予測や販売戦略を考えていく力を学びます。							
授業計画・内容							
1回目	売上(収益・収入)からレストランマネジメントの全体像を学ぶ事が出来る。						
2回目	勘定科目の収入と費用の基礎を学ぶ事が出来る。						
3回目	税金とサービス料金から見るレストラン収入の考え方を学ぶ事が出来る。						
4回目	課題を抽出出来、克服方法を考える事が出来る。						
5回目	売上構成比と客席回転率の考え方を学ぶ事が出来る。						
6回目	中間試験						
7回目	5つの益を知り収益構造の基礎を学ぶ事出来る。						
8回目	原価コントロールを学び適正価格の設定を考える事が出来る。						
9回目	事業特性の強みと弱みを学ぶ事が出来る。						
10回目	事業特性の機会と脅威を学ぶ事が出来る。						
11回目	RFM分析を用い保有顧客・稼働顧客の考え方を学ぶ事が出来る。						
12回目	課題を抽出出来、克服方法を考える事が出来る。						
13回目	試験対策						
14回目	★評価週		期末テスト				
15回目			期末テスト振り返り				
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる						
評価方法	筆記試験						
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見						
【使用教科書・教材・参考書】							
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法							

科目名 (英)	レストランマネジメントⅡ	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
	Restaurant Management Ⅱ	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】							
25年に及び現場で培ったノウハウを活かしながら実社会で通用する心構えと行動指針をレストランマネジメントと紐付けて学びます。							
【実務経験】							
ウエスティンホテル東京2年（バー勤務）・JFEレストランドイツ滞在2年（レストラン・バー勤務）・レストランひらまつ2年（レストラン） ホテルオークラ福岡20年（レストラン勤務）							
【到達目標】							
実社会で通用する知識の習得							
〈具体的な目標〉							
実例を基に現場をしり理解を深める事							
授業通じ探求心の創造と具体化を考えられる様になる事							

授業計画・内容	
1回目	授業の具体的な方向性を知り理解を深める事が出来る。
2回目	会社・現場が教えてくれない事を知る事で社会人対応力を養う事が出来る
3回目	ジョブタイトル別の行動指針を理解する事が出来る
4回目	電話予約の受け方の注意点を学ぶ事が出来る。
5回目	来店予約の受け方と注意点を学ぶ事が出来る。
6回目	予約に基づきテーブルアサインの考え方を身につける事が出来る
7回目	中間筆記試験
8回目	予約に基づきテーブルアサインの考え方を身につける事が出来る
9回目	シフト作成について学ぶ事が出来る
10回目	シフトを作成にチャレンジするが出来る
11回目	実例を基に対応力を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ①)
12回目	実例を基に対応力を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ②)
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	examination preparation	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。 【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 各国の歴史・文化を通じて知見を深める (具体的な目標) 目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う 目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化							

授業計画・内容	
1回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
7回目	中間試験
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	ローザンヌ留学導入教育	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
	Pre lausanne program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル旅館における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ローザンヌ留学における現地の情報と現地授業の状況を事前に研究し、スムーズな講義拝聴が出来る基礎を身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	Lausanne カリキュラムプログラムについて 説明・日程など を学び理解できる	
2回目	該当各国・エリアの観光資源－自然景観の学習 を学び理解できる	
3回目	該当各国・エリアの観光資源－観光地の学習 を学び理解できる	
4回目	該当各国・エリアの観光資源－交通網の学習(鉄道路線・航路)を学び理解できる	
5回目	行程表(行動予定表) － グループワークでの意見の集約をはかることことができる	
6回目	行程表(行動予定表) － グループワークでの行程表作成することことができる	
7回目	行動表(行動予定表) － パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成が出来る	
8回目	語学力確認中間テスト(振り返り)	
9回目	ホテル専門用語、オペレーション基礎確認テスト(振り返り)	
10回目	Lausanne カリキュラムプログラムの内容、実施講義の理解① を行い理解することで留学先での学習が円滑に出来るようになる	
11回目	Lausanne カリキュラムプログラムの内容、実施講義の理解② を行い理解することで留学先での学習が円滑に出来るようになる	
12回目	Lausanne カリキュラムプログラムの内容、実施講義の理解③ を行い理解することで留学先での学習が円滑に出来るようになる	
13回目	Lausanne カリキュラムプログラムの内容、実施講義の理解④ を行い理解することで留学先での学習が円滑に出来るようになる	
14回目	★評価週	IELTS点数確認 (語彙力確認テスト)
15回目		留学手続き確認
準備学習 時間外学習	ヨーロッパのホテルや文化、情報を事前に取得して授業に臨むように	
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	ワインエキスパート	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Study of WineEX	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科				4	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
映像を通して、現在のフランスのブドウ畑の状態、香りのサンプルを使った、ワインの香りの表現の仕方等、ワインをより身近に感じて頂き、興味を持って貰えるような授業を実地します。〈職務経験〉アンスティチュフランセ九州にて2005年から16年間ワイン講座担当、2009年から12年間西南学院大学、年一度のゲスト講師、2002年より19年間、ワインバーラタフィアのオーナーソムリエ。2012年より9年間、一般社団ソムリエ協会委員、2021年よりソムリエ協会福岡支部・支部長。							
【到達目標】							
ワインの製造方法、歴史背景を理解して、ペアリングの提案ができるようになる。ワインについて説明ができるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	ワインができるまで。 ワイン畑の四季・製造方法を理解する説明ができるようになる。						
2回目	フランスワインの基本。 フランスの様々なワイン産地の特徴えお説明できるようになる。						
3回目	日本ワインの可能性、世界で活躍する日本人醸造家。 日本ワインについて説明できるようになる。						
4回目	ワインの女王・ボルドーワイン。 フランスワインの基本であるボルドーワインの歴史、ワイン法について学ぶ、ボルドーワインについて説明できるようになる。						
5回目	ワインの王様・ブルゴーニュワイン。フランスワインの基本であるブルゴーニュワインの歴史、ワイン法について学ぶ。						
6回目	新酒・ボジョレーヌーボ解禁。 ワインの祭りをイベントに取り入れてる方法を学ぶことができる。						
7回目	ワインの表現方法。 ワインの香りを言葉で表現することができる。						
8回目	シャンパーニュとスパークリングワインの違い。 シャンパーニュの歴史、スパークリングワインの製造方法について学ぶ、違いを説明できるようになる。						
9回目	ワインの世界におけるSDG s。環境に配慮した畑の環境、醸造方法を学び、ワインにおけるSDGsを説明できるようになる。						
10回目	ワインサービス。 ワインの適正温度、抜栓の仕方を学ぶ、ワインサービスの基礎を理解することができる。						
11回目	フードペアリング。 食事・デザートとワイン組み合わせを知り、説明できるようなる。						
12回目	試験対策。 試験に備えて授業を振り返る。						
13回目	試験対策。 試験に備えて授業を振り返る。						
14回目	★評価週		筆記テスト				
15回目	★まとめ・追試/再試		期末テストの解説				
準備学習 時間外学習	10/21は授業がありません。ご注意ください。						
評価方法	筆記による期末テスト						
受講生への メッセージ	ワインには、人と人を繋げる力もあります。授業を通じて、少しでもワインが皆様の身近なれば幸いです。						

科目名 (英)	ワイン解説Ⅰ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Wine studies	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						曜日・時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
教員実務経歴：都内外資系ホテルにてBAR勤務後、1996年ドイツへ渡りワインの栽培・収穫に携わりヨーロッパ各国を巡り知識・見分を深める。							
在独中は1998年世界最優秀ソムリエコンクールの優勝者「マルクス・デルモネゴ」に師事							
帰国後、都内星付きレストラン・福岡市内ホテルにて従事の傍ら、業界の発展と若き人材育成へ尽力							
※実務者経験：厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員							
【到達目標】							
代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し説明出来る様になる。							
〈具体的な目標〉							
目標①ワインの奥深さとその歴史を体得する							
目標②産地による違いを知り、料理との相性やシチュエーションでのセレクション力を養う							
目標③授業通じワインづくりにかけるワイナリーの意気込みやビンテージワインへの好奇心創造の具体化							
授業計画・内容							
1回目	ワインの分類を体系的に学び基礎知識を習得。ワインの歴史、ワインの種類、ブドウの品種を学び説明出来る様になる。						
2回目	フランスのワイン 品質分類、主な産地、エチケットの読み方を学び説明出来る様になる。						
3回目	ドイツのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、産地呼称の細分、品質分類を学び説明出来る様になる。						
4回目	イタリア、アメリカのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来る様になる。						
5回目	スペイン(ポルトガル)、オーストラリアのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来る様になる。						
6回目	中間筆記試験						
7回目	チリ、アルゼンチンのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種を学び知識を習得する事が出来る。						
8回目	日本のワイン、ワインの品質管理 ワインの産地と特徴、主なブドウ品種 ポルトガルのワインを学び知識を習得する事が出来る。						
9回目	フォーティファイドワイン、アロマティックワインについて学説明出来る様になる。						
10回目	ビールとスピリッツ(ブランデー、ウイスキー)について学説明出来る様になる。						
11回目	スピリッツ(ジン〜テキーラ)、コーヒー、紅茶について学説明出来る様になる。						
12回目	日本酒、焼酎について学説明出来る様になる。						
13回目	試験対策						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる						
評価方法	筆記試験						
受講生へのメッ セージ	未だ見ぬ自分の新たな発見						
【使用教科書・教材・参考書】							
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法							

科目名 (英)	ワイン解説Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Wine studies	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
教員実務経歴：都内外資系ホテルにてBAR勤務後、1996年ドイツへ渡りワインの栽培・収穫に携わりヨーロッパ各国を巡り知識・見分を深める。 在独中は1998年世界最優秀ソムリエコンクールの優勝者「マルクス・デルモネゴ」に師事 帰国後、都内星付きレストラン・福岡市内ホテルにて従事の傍ら、業界の発展と若き人材育成へ尽力 ※実務者経験：厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員							
【到達目標】 代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し説明出来る様になる。 〈具体的な目標〉 目標①ワインの奥深さとその歴史を体得する 目標②産地による違いを知り、料理との相性やシチュエーションでのセレクション力を養う 目標③授業通じワインづくりにかけるワイナリーの意気込みやビンテージワインへの好奇心創造の具体化							
授業計画・内容							
1回目	ワインの分類を体系的に学び基礎知識を習得。ワインの歴史、ワインの種類、ブドウの品種を学び説明出来る様になる。						
2回目	フランスのワイン 品質分類、主な産地、エチケットの読み方を学び説明出来る様になる。						
3回目	ドイツのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、産地呼称の細分、品質分類を学び説明出来る様になる。						
4回目	イタリア、アメリカのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来る様になる。						
5回目	スペイン(ポルトガル)、オーストラリアのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来る様になる。						
6回目	中間筆記試験						
7回目	チリ、アルゼンチンのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種を学び知識を習得する事が出来る。						
8回目	日本のワイン、ワインの品質管理 ワインの産地と特徴、主なブドウ品種 ポルトガルのワインを学び知識を習得する事が出来る。						
9回目	フォーティファイドワイン、アロマティックワインについて学説明出来る様になる。						
10回目	ビールとスピリッツ(ブランデー、ウイスキー)について学説明出来る様になる。						
11回目	スピリッツ(ジン〜テキーラ)、コーヒー、紅茶について学説明出来る様になる。						
12回目	日本酒、焼酎について学説明出来る様になる。						
13回目	試験対策						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる						
評価方法	筆記試験						
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見						
【使用教科書・教材・参考書】							
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法							

科目名 (英)	ワイン解説Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Wine studies	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						曜日・時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
教員実務経歴：都内外資系ホテルにてBAR勤務後、1996年ドイツへ渡りワインの栽培・収穫に携わりヨーロッパ各国を巡り知識・見分を深める。							
在独中は1998年世界最優秀ソムリエコンクールの優勝者「マルクス・デルモネゴ」に師事							
帰国後、都内星付きレストラン・福岡市内ホテルにて従事の傍ら、業界の発展と若き人材育成へ尽力							
※実務者経験：厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会							
2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員							
【到達目標】							
代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し説明出来る様になる。							
〈具体的な目標〉							
目標①ワインの奥深さとその歴史を体得する							
目標②産地による違いを知り、料理との相性やシチュエーションでのセレクション力を養う							
目標③授業通じワインづくりにかけるワイナリーの意気込みやビンテージワインへの好奇心創造の具体化							
授業計画・内容							
1回目	ワインの分類を体系的に学び基礎知識を習得。ワインの歴史、ワインの種類、ブドウの品種を学び説明出来る様になる。						
2回目	フランスのワイン 品質分類、主な産地、エチケットの読み方を学び説明出来る様になる。						
3回目	ドイツのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、産地呼称の細分、品質分類を学び説明出来る様になる。						
4回目	イタリア、アメリカのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来る様になる。						
5回目	スペイン(ポルトガル)、オーストラリアのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来る様になる。						
6回目	中間筆記試験						
7回目	チリ、アルゼンチンのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種を学び知識を習得する事が出来る。						
8回目	日本のワイン、ワインの品質管理 ワインの産地と特徴、主なブドウ品種 ポルトガルのワインを学び知識を習得する事が出来る。						
9回目	フォーティファイドワイン、アロマティックワインについて学説明出来る様になる。						
10回目	ビールとスピリッツ(ブランデー、ウイスキー)について学説明出来る様になる。						
11回目	スピリッツ(ジン〜テキーラ)、コーヒー、紅茶について学説明出来る様になる。						
12回目	日本酒、焼酎について学説明出来る様になる。						
13回目	試験対策						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる						
評価方法	筆記試験						
受講生へのメッ セージ	未だ見ぬ自分の新たな発見						
【使用教科書・教材・参考書】							
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法							

科目名 (英)	ワイン学Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	study of wineⅡ	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ドイツでドイツ語でワインの試験に合格した講師が2年間の滞在期間において培った経験を活かして世界のワインを学び知識を深めていく授業です 【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 ワインを通じて各国の歴史や文化の理解度を高めます。 <具体的な目標> 目標①地理的状況を把握する事で知識の深堀を図ります 目標②授業を通じ国際感覚を養います							

授業計画・内容	
1回目	フランス(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
2回目	ドイツ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
3回目	イタリア(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
4回目	スペイン・ポルトガル(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
5回目	オーストリア・スイス(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
6回目	アメリカ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
7回目	中間試験
8回目	オーストリア・ニュージーランド(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
9回目	チリ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
10回目	アルゼンチン(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
11回目	南アフリカ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	英会話(ライティング) English (writing)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務者経験：英語講師経験20年以上。英語翻訳業務実務経験5年。実用英語検定(3級、準2級、2級担当)面接試験官20年。Nutrition and Well-being (栄養と健康について) University of Aberdeen (アバディーン大学)/Statement of Participation (講座修了書)取得。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育の為の専門的プラクティス)/British Council (ブリティッシュ カウンシル) Statement of Participation (講座修了書)等の資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて、15レッスンにわたり、英文法の総復習、英単語、慣用表現、英熟語の学習、リスニング、ライティング、面接対策を行い、生徒達が実用英語技能検定試験合格に向けて、総合的な英語力を付けることが出来る様指導する							
【到達目標】							
①英語学習に対して、プラスな面を見つけ得意科目にすることができる。②英語検定準2級・2級に合格することができる。							

授業計画・内容	
1回目	英検の出題形式を知る。実力確認問題を解く。自分の英語レベル、強みや弱点を知り、合格に向けての学習プランを立てることが出来る。
2回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
3回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
4回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
5回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
6回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
7回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。 第1回英検受検者は長文読解練習。英検本会場6月5日実施
8回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。
9回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
10回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
11回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。 第1回英検受検者(1次合格者)は面接練習。英検本会場7月3日実施
12回目	弱点対策学習。9～11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。 ★第1回英検受検者(B日程受検者)は面接練習。英検本会場7月10日実施
13回目	弱点対策学習。9～11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。
14回目	★評価週 過去問題を解く。目標級の過去問題正解率60%以上を目指す。実戦練習として問題を解き、正解率60%を超えることが出来る。
15回目	今学期のまとめ。提出物の確認。
準備学習 時間外学習	基本的にクラス内で学習。暗記物及び提出物等は自分のペースで時間外学習。
評価方法	主に提出物により採点
受講生へのメッセージ	自分の弱点を知り、目標を立て、前向きに楽しみながら弱点克服と合格を目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
英単語、英熟語プリント／英検100%合格にこだわった本／過去問題プリント／英検面接カード	

科目名 (英)	英会話(ライティング)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	English conversation	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験:海外生活の体験が皆無なところから英検1級・TOEIC970点を修得した教員自身の学習経験と豊富なノウハウをもとに、英検準2級以上の実力をつけるための文法力を身に付けてもらう。 このレベルはかなりの実力は持ちながらも、まだ理解が曖昧で怪しい箇所もたくさんある層です。したがって各自の理解度を個別に慎重に評価しながら、しゃべる、聴く、読む、書く の4技能もフルに使いつつ楽しい授業を目指します。							
【到達目標】							
①英検検定準2級・2級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気を高めこれからの目標を設定することができる。	
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
6回目	不定詞・動名詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。	
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのため単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりとしましょう。	
評価方法	中間テスト4割　期末テスト6割	
受講生へのメッセージ	英検準2級、2級を超えられたら、英語の理解度や運用力がぐんと上がって、現実実践に使える手ごたえが感じられます。そうなったら英語学習はますます楽しくなってきますので、ぜひその境界を一緒に超えていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『高校英文法をひとつひとつわかりやすく』(学研) 『トレーニングノート英文法α』(受験研究社)　ほか、長文プリントなど		

科目名 (英)	英会話(ライティング) English (writing)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務者経験：英語講師経験20年以上。英語翻訳業務実務経験5年。実用英語検定(3級、準2級、2級担当)面接試験官20年。Nutrition and Well-being (栄養と健康について) University of Aberdeen (アバディーン大学)/Statement of Participation (講座修了書)取得。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育の為の専門的プラクティス)/British Council (ブリティッシュ カウンシル) Statement of Participation (講座修了書)等の資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて、15レッスンにわたり、英文法の総復習、英単語、慣用表現、英熟語の学習、リスニング、ライティング、面接対策を行い、生徒達が実用英語技能検定試験合格に向けて、総合的な英語力を付けることが出来る様指導する。							
【到達目標】 ①英語学習に対して、プラスな面を見つけ得意科目にすることができる。②自身の目指す英語検定の級に合格することができる。							

授業計画・内容	
1回目	英検の出題形式を知る。実力確認問題を解く。自分の英語レベル、強みや弱点を知り、合格に向けての学習プランを立てることが出来る。
2回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
3回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
4回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
5回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
6回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
7回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。 ★第1回英検受検者は長文読解練習。英検本会場6月5日実施
8回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。
9回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
10回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
11回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。 ★第1回英検受検者(1次合格者)は面接練習。英検本会場7月3日実施
12回目	弱点対策学習。9～11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をするべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。 ★第1回英検受検者(8日程受検者)面接練習。英検本会場7月10日実施
13回目	弱点対策学習。9～11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をするべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。
14回目	★評価週 過去問題を解く。目標級の過去問題正解率60%以上を目指す。実戦練習として問題を解き、正解率60%を超えることが出来る。
15回目	今学期のまとめ。提出物の確認。
準備学習 時間外学習	基本的にクラス内で学習。暗記物及び提出物等は自分のペースで時間外学習。
評価方法	主に提出物により採点
受講生へのメッセージ	まず、合格目標を立てましょう。目標を設定し、一步一步目標級の合格まで歩んでゆきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 英単語、英熟語プリント／英検100%合格にこだわった本／過去問題プリント／英検面接カード	

科目名 (英)	英会話(リーディング) English conversation	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験:10年以上にわたり、英語初心者的小学生や英語が苦手な中高生を教えてきた教員自身の体験を踏まえて、初期の文法をつまづきやすいところを丁寧に着実に教えていきます。 しゃべる、読む、聴く、書く の4技能をフルにつかって、体全身で英語のエッセンスをとらえてもらえるような授業を目指します。基礎的な文法が身に着くと、もっと複雑な英文を読んだり話したりしたくなります。そんな「楽しさ」を知ってもらえるような工夫をします。							
【到達目標】 ①自身の目指す英語検定の級に対して必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介をすることで今後の学びへのやる気をうながし、目標を共有することができる。	
2回目	be動詞と一般動詞について学び、基礎的な理解とある程度の応用ができるようになる。	
3回目	進行形、未来形について学び、基礎的な理解とある程度の応用ができるようになる。	
4回目	助動詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
5回目	冠詞・代名詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
6回目	形容詞や副詞・接続詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度や弱点を知ることができる。	
8回目	比較級について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
9回目	不定詞・動名詞について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
10回目	受身表現について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
11回目	関係代名詞についてb学び、基礎的な理解を得ることができる。	
12回目	現在完了形(継続)について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
13回目	現在完了形(経験・完了)について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。
15回目		期末テストの評価と今後の目標を共有することにより来期以降のゴールを描くことができる。
準備学習 時間外学習	毎回、前回の学習内容を問う小テストを行いますので、復習をしっかりとすることが大切です。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生へのメッセージ	英語をマスターするための基礎を丁寧に教えます。基礎がしっかり固まれば、さまざまなことを英語で表現できるようになり、それはとても楽しいものです。一緒に英語の山を上りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく』(学研) 『中学3年間の総復習 英語』(旺文社) など		

科目名 (英)	英語(リーディング)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	English conversation	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
高校用教科書ガイドの執筆および非常勤講師として従事。 自身の問題作成等の経験から出題者の思考を授業にフィードバックする。今回の授業では「英検」に関する問題、選択肢の特徴から、英検に特化した学習方法を共有する。							
【到達目標】 ①英語検定1級・準1級に向けて、自身の弱点を明確化することができる。②英語検定、準1級・1級を取得することができる。							

授業計画・内容		
1回目	英検準1級取得に向けての学習方法、求められる能力を説明することでマインドセットにつなげることができる。	
2回目	文章の要となる動詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで語彙力の増強につなげることができる。	
3回目	名詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
4回目	形容詞、副詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
5回目	熟語に関する語彙問題の演習、解説。「熟語はあくまで構成している単語の意味の集合」であることを伝えることにより効率よく語彙力の増強を図ることができる。	
6回目	リーディング問題への対応方法及びリーディング問題(Part2)演習、解説。これにより、リーディング学習の方向性を獲得することができる。	
7回目	リーディング問題(Part2)演習、解説をすることで英文読解のメソッド及び選択肢のパターンなどを学ぶことができる。	
8回目	長文読解の中でも難易度が上昇するリーディング問題(Part3)のポイント説明。これとリーディング問題(Part3)演習解説をすることで学習の足場を築くことができる。	
9回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
10回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
11回目	リーディング問題(Part3)演習解説。今回は難問を扱うことでさらに問題への対応力の構築の一助とする。	
12回目	英検ミニテスト1(語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点などを把握することができる。	
13回目	英検ミニテスト2(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点、現時点での実力などを把握することができる。	
14回目	★評価週	英検ミニテスト3(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、授業での到達度を把握することができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	ミスをした問題の復習。具体的には単語を覚えること、いかにして問題文からその単語が答えをしてつながるのかを考察することを実施する。 長文読解に関しては何度も読むことでスピードアップを図り、同時に理解を深める。	
評価方法	試験100%	
受講生へのメッセージ	英検準1級は語彙レベルでは高校レベルを超えたものになります。問題として出題される単語は普段見かけないものも多くあります。そのため積極的に自分から単語の習得をすることが一番の近道になります。 学習ペースができればいずれ合格レベルになります。一緒に英語を楽しみながらレベルアップしていきましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
・英検準1級をたった7日で総復習 ・英検準1級 単語、熟語問題		

科目名 (英)	英会話(リーディング) English conversation	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験:海外経験ほぼ皆無ななか、英検1級やTOEIC970点を習得した教員自身の学習体験を生かし、英検準一級からさらに上を目指す人が必要とする文法力や語彙力をつけられるようにします。 長文読解を中心に、複雑な文章の構造や文法解説を中心に授業を行います。、難易度の高い単語力などを並行して身に付けてもらえるよう工夫します。							
【到達目標】							
①英語検定準1級・1級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気を高めこれからの目標を設定することができる。	
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
6回目	不定詞・動名詞ついでの問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。	
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのために難易度の高い単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりとしましょう。	
評価方法	中間テスト4割　期末テスト6割	
受講生へのメッセージ	準2級レベル以上をクリアできている皆さんに必要なのは、多読です。高校で学ぶ文法をしっかりと固めつつ、難易度の高い長文を短時間で読めるようになりましょう。英文の記事などを読めるようになると世界がぐんとひろがります。その景色が見られるように、いっしょにがんばりましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『トレーニングノート英文法α』（受験研究社）　ほか、準一級レベルの長文のプリント		

科目名 (英)	英会話合宿	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	English seminar	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学校等で英語講師を担当した実績のある専任教員が、あなたのキャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけます。(日本滞在10年以上、企業のマネジメントやビジネス英会話を企業研修でも行う講師が英会話の実践的なゼミを展開 Our full-time teacher with a proven track record of teaching English at airline vocational schools will equip you with the English proficiency you need to realize your career dreams.							
【到達目標】 英語で挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to greet and introduce yourself in English. 英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to say hello and introduce yourself.
2回目	物、国、場所などについて理解できる。 You'll be able to name objects, countries, places, etc.
3回目	自分自身について話すことができる。(日常の活動、国籍、数字) You'll be able to talk about yourself. (Daily activities, nationality, numbers)
4回目	自分自身について話すことができる。(日常の活動、家族やペット) You'll be able to talk about yourself. (Daily activities, family and pets)
5回目	人と物の説明、天気、物が誰のものかについて話すことができる。 You'll be able to talk about people and objects, the weather, and who the objects belong to.
6回目	家族、活動やイベントの説明、所属について話すことができる。 You'll be able to talk about your family, activities and events, and your affiliation.
7回目	単数形と複数形の違いを理解できる。町の周りの場所、場所を探す。 You'll be able to understand the difference between the singular and the plural. Find places around the town
8回目	単数形と複数形の違いを理解できる。 買い物 ができる。 You'll be able to shop for clothing; understand the difference between the singular and the plural; colors
9回目	言語と国籍、仕事、日常の活動 You will learn about language and nationality, work, daily activities
10回目	人々の興味やあなたの仕事を説明できる。 You'll be able to explain people's interests and your work.
11回目	時間の説明ができる。 You'll be able to explain the time.
12回目	日常生活、感情を表すことができる。 You'll be able to express everyday life and emotions.
13回目	面接で自分の能力を表現する。 You'll be able to express your abilities in an interview.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	★まとめ・追試/再試 理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト100%
受講生への メッセージ	入学おめでとうございます。楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Congratulations on your admission. Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】 SIDE by SIDE (Book & eText) ENGLISH FOR EVERYONE (Course Book)	

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to greet and introduce yourself in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容		
1回目	自分や友達を紹介することができる。 You'll be able to introduce yourself and friends.	
2回目	電話番号と電子メールアドレスを尋ねる You'll be able to ask for phone numbers and e-mail addresses.	
3回目	部屋の物の名前が分かる。 You'll be able to name objects in the room.	
4回目	職場内の場所について説明できる。 You'll be able to talk about workplace; ask for and give the locations of objects.	
5回目	都市、国、大陸について話すことができる。 You'll be able to talk about cities, countries and continents.	
6回目	出身地、国籍、第一言語、年齢など説明できる。 You'll be able to ask for and give information about place of origion, nationality, first language and age; describe people.	
7回目	服や色について質問したり説明したりできるようになる。 You'll be able to ask about and describe clothing and colors	
8回目	天気と季節について。物の所有者を見つける。 You'll be able to talk about the weather and seasons; find the owner of objects.	
9回目	オフィス機器を識別することができる。 You'll be able to identify office equipments.	
10回目	時間や状況の説明ができる。 You'll be able to ask for and tell time; ask about and describe current activities.	
11回目	どのように仕事や学校に行くかについての質問や説明ができる。 You'll be able to ask colleagues questions; ask for and give information about how people go to work or school.	
12回目	家族についてや日常生活について話せる。 You'll be able to talk about family members; describe daily and weekly routines.	
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.	
14回目	★評価週	理解度テスト comprehension test
15回目		理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test	
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% , Class attendance 15%, Class attitude 5%	
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容		
1回目	現在、過去、および未来の行動を説明できる。 You'll be able to describe present,past, and future actions.	
2回目	誕生日や贈り物について話すことができる。友情について話せる。 You'll be able to talk about birthdays and gifts; talk about friendships.	
3回目	食べ物と食べ物の購入について話すことができる。 You'll be able to talk about food and buying food.	
4回目	食事時にゲストについて話すことができる。食べ物の好みを説明できる。 You'll be able to talk about being a guest at mealtime; descibe food preferences.	
5回目	食べ物の購入について話すことができる。食べ物を説明できる。 You'll be able to talk about buying food; describing food.	
6回目	レストランで食事をするについて話すことができる。レシピ。 You'll be able to talk eating in a restaurant; recipes.	
7回目	未来について話すことができる。確率について。 You'll be able to talk about the future; talk about probability.	
8回目	可能性について話すことができる。警告。 You'll be able to talk about possibility; warnings.	
9回目	比較できる。 アドバイスする。 You'll be able to make comparisons; give advice.	
10回目	自分の意見を表すことができる。 賛成と反対。 You'll be able to express your opinion; agree and disagree.	
11回目	人、場所、物事を説明できるようになる。 You'll be able to describe people, places, and things.	
12回目	デパートで買い物ができるようになる。 You'll be able to shop in a department store.	
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.	
14回目	★評価週	理解度テスト comprehension test
15回目		理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test	
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% , Class attendance 15%, Class attitude 5%	
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース						曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容		
1回目	続いているもの、好き嫌いについて説明できる。 You'll be able to describe ongoing activities; talk about likes and dislikes.	
2回目	頻度を説明できる。経歴と趣味を説明できる。 You'll be able to describe frequency of actions; talk about personal background and interests.	
3回目	過去のことや失敗したことを話すことができる。 You'll be able to talk about past activities and mishaps.	
4回目	難しい経験について話したり、旅行について説明したりすることができる。 You'll be able to talk about difficult experiences and describe a trip.	
5回目	将来について話すことができる。 You'll be able to decribe future plans and intensions.	
6回目	電話で話すことができる。お願いができる。 You'll be able to talk on the phone and ask a favor.	
7回目	終わったことや終わっていないことの説明ができる。 You'll be able to describe actions that have occurred and actions that haven't accored yet.	
8回目	リストを作ることが出来る。 住んでいる場所でのおすすめを説明できる。 You'll be able to make lists; make recommendations; talk about things to do where you live.	
9回目	期間について説明できる。 体の症状について話すことができる。 You'll be able to talk about duration of activity; talk about medical symptoms and Problems.	
10回目	キャリアアップの話や家族の話ができる。 You'll be able to talk about career advancement and talk about family members..	
11回目	家の修理の問題を説明したり、達成したことを説明できる。 You'll be able to describe household repair problems and describe tasks accomplished.	
12回目	誰かを安心させることができる。経験を説明する。就職の面接。 You'll be able to reassure someone; describe experiences; job interviews.	
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.	
14回目	★評価週	理解度テスト comprehension test
15回目		理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test	
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% , Class attendance 15%, Class attitude 5%	
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	英語	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	English Conversaion	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。 Introductory level course focusing on improving students' spoken English in a conversational setting.							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。Students should feel more comfortable and confident in discussing everyday, high frequency topics.							

授業計画・内容		
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる	
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる	
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる	
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べることができる	
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べることができる	
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる	
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる	
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる	
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる	
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる	
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる	
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる	
13回目	総復習	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。	
評価方法	試験100%	
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	宴会マネジメント	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	Banquet management	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル旅館における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ホテル旅館のリーダーやマネジメント職を見据え、自身でサービスをより高い価値として考察し、構築し、最大化して提供するスキルを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	サービスマーケティングを活用した接客サービスの基本を学び	
2回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し説明できるようになる	
3回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し、実際の提供するテクニックを身に付ける事ができる	
4回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる①	
5回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる②	
6回目	バンケットマネジメント戦略を理解し説明することができる①	
7回目	バンケットマネジメント戦略を理解し説明することができる②	
8回目	バンケットマネジメント戦略を理解し説明することができる③	
9回目	ホテルサービスにおけるデジタルと人的サービスの共存について概要を学び、説明することができる	
10回目	ホテル旅館における労働生産性についての基本を学び説明ができる	
11回目	ホテル旅館における労働生産性についての活用方法を学び説明ができる	
12回目	ホテル旅館における労働生産性が生むパーソナルサービスの影響を説明することができる	
13回目	試験前のこれまでの授業内容の振り返りの実施	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	試験のフィードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	宿泊業界のコストとリソースの観点からマネジメントができるサービス人材を目指します。自身が宿泊業のサービス商品をよりキャリアアップさせる武器として身に付けられるように半年間一緒に学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	観光ガイド実務 guide of siteseeing	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 訪日外国人旅行者に対する、知識を取得し今後の業務に活用する ※実務者経験：インバウンド旅行添乗業務 30年							
【到達目標】 後期：インバウンド実務主任者資格を取得							

授業計画・内容		
1回目	1年次講義のおさらい 1	
2回目	1年次講義のおさらい 2	
3回目	インバウンドとビジネスについて学び理解できる	
4回目	インバウンドとビジネスについて学び理解できる	
5回目	インバウンドとニューツーリズムについて学び理解できる	
6回目	インバウンドとニューツーリズムについて学び理解できる	
7回目	中間テスト／訪日外国人の理解について学び理解できる	
8回目	訪日外国人の理解について学び理解できる	
9回目	訪日外国人への対応について学び理解できる	
10回目	訪日外国人への対応について学び理解できる	
11回目	インバウンドの集客について学び理解できる	
12回目	模擬試験について学び理解できる	
13回目	模擬試験について学び理解できる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	●定期テスト	
受講生へのメッセージ	訪日外国人への理解を深め、各職場での対応力を身に付けてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
インバウンド実務主任者 公式テキスト		

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解する事ができる。							
【到達目標】							
①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解する事ができる	
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる	
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる	
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる	
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる	
6回目	各チームの企画概要制作①	
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①	
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～	
9回目	各チームの企画概要制作③	
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～	
11回目	各チームの企画概要制作⑤	
12回目	各チームの企画概要制作⑦	
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①	
14回目	★評価週	現地での課題プレゼン
15回目	★まとめ・追試/再試	プレゼン時の自己分析と各メンバー内でのフィードバックの実施
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問	
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度	
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思います。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間を全力でお伝えします。頑張ってください！	
【使用教科書・教材・参考書】		
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノートを用意し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。		

科目名 (英)	企業プロジェクトA CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解する事ができる。							
【到達目標】							
①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解する事ができる	
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる	
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる	
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる	
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる	
6回目	各チームの企画概要制作①	
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①	
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～	
9回目	各チームの企画概要制作できる	
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～	
11回目	各チームの企画概要制作できる	
12回目	各チームの企画概要制作できる	
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①	
14回目	★評価週	現地での課題プレゼン
15回目	★まとめ・追試/再試	プレゼン時の自己分析と各メンバー内でのフィードバックの実施
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問	
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度	
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思います。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間を全力でお伝えします。頑張ってください！	
【使用教科書・教材・参考書】		
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノートを用意し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。		

科目名 (英)	企業プロジェクトB CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	90 6	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル現場経験(15年)とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解する事ができる。							
【到達目標】							
①1年後のJESC奨励賞に向けて企業課題に取り組むことができる②数値化された情報を様々な視点から分析し、プロジェクトに活かすことができる。							

授業計画・内容		
1回目	ホテル業界のコロナ禍とアフターコロナの動向を理解できる	
2回目	福岡市内のホテル分析をする② ～楽天トラベル上で見つけた泊まりたい宿のプレゼンを実施する～	
3回目	福岡市内のホテル分析をする④ ～じゃらんネット上で見つけた泊まりたい宿のプレゼンを実施する～	
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知る② ～プロジェクト企業の情報収集～	
5回目	現地視察の実施し現場を知ることができる	
6回目	各チームの企画概要制作できる	
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知ることができる	
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる② ～3C分析の活用～	
9回目	各チームの企画概要制作できる	
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる② ～ターゲットとペルソナ作成～	
11回目	各チームの企画概要制作できる	
12回目	各チームの企画概要制作できる	
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる②	
14回目	★評価週	現地での課題プレゼン
15回目	★まとめ・追試/再試	プレゼン時の自己分析と各メンバー内でのフィードバックの実施
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問	
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度	
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思います。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間を全力でお伝えします。頑張ってください！	
【使用教科書・教材・参考書】		
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノートを用意し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。		

科目名 (英)	企業プロジェクトC Corporate projects	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。 実施授業:業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。昨年度の同授業で先輩が企画したものをベースにさらに精度を高めた提案をすること。							
【到達目標】 業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・生徒他己紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有	
2回目	企業様よりIT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。	
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。	
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。	
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。	
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。	
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。	
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
10回目	企業様へ中間プレゼンテーション	
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
14回目	★評価週	企業様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試	講評
準備学習 時間外学習		
評価方法	プレゼンテーション	
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	空間デザイン Spatial design	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 最年少でNFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている講師がトレンドと伝統を織り交ぜたコーディネート授業を展開します。							
【到達目標】 最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することができる							

授業計画・内容		予算(概算)
1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解する	
3回目	VMDについて理解する	
4回目	ディスプレイに用いる什器の組み合わせ方法が出来るようになる	
5回目	校内で実際にディスプレイを行う場所を考えプランニングをすることができる	
6回目	プランを実践表現できる①	
7回目	プランを実践表現できる②	
8回目	商品ディスプレイについて理解する	
9回目	色彩がもたらす心理効果について理解する	
10回目	空間コーディネートと植物について理解する	
11回目	インテリアコーディネートと生花とは何か理解する	
12回目	評価週に向けて校内でディスプレイを行う場所を考えプランニング①ができる	
13回目	評価週に向けて校内でディスプレイを行う場所を考えプランニング②ができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試／再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト(100%)	
受講生への メッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することで、空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	高級ホテル体験	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】							
業界知識を基に、国内はもちろん海外ホテルからの視点も含めてホテル業界全体を考える。また、演習(パソコンを使って情報を収集、分析そして予想)することで自主的に先を見る目を養う。							
実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】							
日本を代表するホテルの特徴や販売促進の特徴を理解することができる。							
テーマパークのホテルを知る上で大切なテーマパーク自体を理解することができる。							
シティホテルとリゾートホテルの違いを具体的に理解し、集客の方法も併せて知ることができる							
国内系のホテルと外資系のホテルの特徴やその違いを具体的に理解することができる。							

授業計画・内容		
1回目	最近のホテル業界の動きを知る①	
2回目	最近のホテル業界の動きを知る①	
3回目	テーマパークホテルについて学ぶ(TDL/USJ)	
4回目	テーマパークホテルについて学ぶ(TDL/USJ)	
5回目	海外のホテルを知る(ハワイ／大型海浜リゾートの代表)①	
6回目	海外のホテルを知る(ハワイ／大型海浜リゾートの代表)②	
7回目	海外のホテルを知る(ラスベガスとIR戦略)①	
8回目	海外のホテルを知る(ラスベガスとIR戦略)②	
9回目	インバウンドについて知る(文化と習慣、食事)①	
10回目	インバウンドについて知る(文化と習慣、食事)②	
11回目	中間テスト	
12回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
13回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
14回目	★評価週	確認テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルテキスト		
その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	財務会計学	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Accounting	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） インターナショナルチェーンホテルの課長代理以上のマネージャーを対象に、リーダーシップワークショップで実施していた「自分の専門外である他部署の知識」のトレーニング教材やトレーナー経験を基に、実務上の具体例を教材として、人材開発を行う。							
【到達目標】 1.ホテル等業界における取引を、財務諸表に表現できる 中間テスト 2.予算、予想と実績に差額が発生している明確な原因の分析と、修正すべき政策提案ができる 期末テスト							

授業計画・内容		
1回目	会計を学ぶ意味を理解することができる。(SMART Goal、財務会計と管理会計、仕訳、部門と勘定科目を学ぶ)	
2回目	売上に関わる会計を理解することができる。(宿泊部門売上と料飲部門売上、Income Audit、AR と General Cashierの業務を学ぶ)	
3回目	ホテルの支出の種類と内容を理解することができる。(固定費と変動費、原価と経費について学ぶ)	
4回目	原価管理の仕組みと方法を理解することができる。(Cost controller と Material、仕入れ管理を学ぶ)	
5回目	財務諸表を理解することができる。(損益計算書、貸借対照表、キャッシュフローを学ぶ)	
6回目	現金主義と発生主義を理解することができる。(各々の財務諸表に表すことができる)	
7回目	中間テスト 取引を財務諸表に表す	
8回目	中間テスト解答解説、人件費管理の方法を理解することができる。(労務管理についても学ぶ)	
9回目	予実管理と政策決定・効果測定のはじめとして、Business Planingを理解することができる。	
10回目	予実管理と政策決定・効果測定のひとつ、Budgetingを理解することができる。	
11回目	予実管理と政策決定・効果測定のひとつ、Forecastingを理解することができる。	
12回目	予実管理と政策決定・効果測定の最重要業務Variance Reportを理解することができる。(前半)	
13回目	予実管理と政策決定・効果測定の最重要業務Variance Reportを理解することができる。(後半)	
14回目	★評価週	期末テスト planing
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト解答解説・追試/再試
	テーマによってグループシンキングによるプレゼンを実施する。	
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	守破離のバランスが大切です。成功するまでやり続けることが、成功の秘訣です。 We care for people so they can be their best.	
【使用教科書・教材・参考書】		
特に無し	すべてPPTスライド説明とプリント使用	

科目名 (英)	施設管理 facility control	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルパンフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に従事した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として 株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。 特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。							
【到達目標】 ホテルに限らず、ビジネスは「入ってくるお金」＝収益と「出ていくお金」＝経費のバランスが大事である。その「出ていくお金」である経費が正しい範囲であるか、どういう根拠によって計算されたのかを学びホテルマネジメントの基礎を習得する。なぜ、数字が大切なのか 数字からどういうことが見えてくるのかを想像し、コントロールすることで実際の宿泊販売の管理の基礎を身に付けることができるようになる。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界のコストマネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの読解分析が出来るレベルを到達とする。							

授業計画・内容		
1回目	初回授業 自己紹介 学生各自自己紹介 授業スタイル説明 何故 コストを考える事が必要か？ を知ることが出来る	
2回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる	
3回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る	
4回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる	
5回目	宿泊料飲数値分析手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る	
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ？の疑問を解決することが出来る	
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる	
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることでロスを発見することが出来る様になる	
9回目	P D C A サイクルで経費節減の手法が理解できる様になる 人件費と適正要員管理の考え方が判るようになる	
10回目	コストコントロールの為のホテル用度購買部門の業務内容を理解し、ホテルの物品食材購入の仕組みを知ることが出来る	
11回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る	
12回目	PMS.CRMの役割を認識して、簡単な損益収支を理解することが出来る	
13回目	自分のホテルを計画し、事業計画としての損益計算書を作成することが出来る	
14回目	★評価週	損益収支に関連した筆記試験(電卓要) 前期内の小テストから抜粋問題
15回目		追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	コロナ禍によって、ホテルビジネスは苦境に立たされている現実から、ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか？のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。	
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出	
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。施設管理は マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事だけでは無く、無駄を省き、あるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。私たちが生きている事にもコストが掛かっています。この授業をとうして、コストを考える機会にしよう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。 また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ」、自らが自調・(情報収集して調べ) 自考・(調べた結果を自分で考える) 事が出来る様な授業と致したい。		

科目名 (英)	施設管理 facility control	必修 選択	必修選択	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルパンフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に従事した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として 株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。 特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。							
【到達目標】							
ホテルに限らず、ビジネスは「入ってくるお金」＝収益と「出ていくお金」＝経費のバランスが大事である。その「出ていくお金」である経費が正しい範囲であるか、どういう根拠によって計算されたのかを学びホテルマネジメントの基礎を習得する。なぜ、数字が大切なのか 数字からどういうことが見えてくるのかを想像し、コントロールすることで実際の宿泊販売の管理の基礎を身に付けることができるようになる。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界のコストマネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの読解分析が出来るレベルを到達とする。							

授業計画・内容		
1回目	3年次に引き続き 何故 コストを考える事が必要か？ を知ることが出来る	
2回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる	
3回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る	
4回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる	
5回目	宿泊料飲数値分析手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る	
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ？の疑問を解決することが出来る	
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる	
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることでロスを発見することが出来る様になる	
9回目	P D C A サイクルで経費節減の手法が理解できる様になる 人件費と適正要員管理の考え方が判るようになる	
10回目	コストコントロールの為のホテル用度購買部門の業務内容を理解し、ホテルの物品食材購入の仕組みを知ることが出来る	
11回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る	
12回目	PMS.CRMの役割を認識して、簡単な損益収支を理解することが出来る	
13回目	自分のホテルを計画し、事業計画としての損益計算書を作成することが出来る	
14回目	★評価週	損益収支に関連した筆記試験(電卓要) 前期内の小テストから抜粋問題
15回目		追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	コロナ禍によって、ホテルビジネスは苦境に立たされている現実から、ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか？のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。	
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出	
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。施設管理は マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事だけでは無く、無駄を省き、あるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。私たちが生きている事にもコストが掛かっています。この授業をとうして、コストを考える機会にしよう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。 また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ」、自らが自調・(情報収集して調べ) 自考・(調べた結果を自分で考える) 事が出来る様な授業と致したい。		

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	work seminar	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科			曜日・時限			
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
就職活動における心構え 面接のロールプレイング 社会人としてのマナーを心得、基礎を身につける							
【到達目標】							
1年次の就職活動準備を踏まえ、個々の就職活動を個々らしさも表現し、社会人としての成長の基礎と応用を身につける ・面接力の向上 ・社会人マナー 授業で習得したことは、日頃より活用できること							
授業計画・内容							
1回目	授業計画説明・制服および就職活動時および面接時の身だしなみ確認						
2回目	面接ロールプレイング:面接とは？ 演習を行い身に付けることができる						
3回目	面接ロールプレイング:面接態度 演習を行い身に付けることができる						
4回目	面接ロールプレイング:言葉遣いなど中心に行う 演習を行い身に付けることができる						
5回目	面接ロールプレイング:自己PR・志望動機 ① 演習を行い身に付けることができる						
6回目	面接ロールプレイング:自己PR・志望動機 ② 印象のよい伝え方など演習を行い身に付けることができる						
7回目	面接ロールプレイング:個別 様々な質問対応 演習を行い身に付けることができる						
8回目	面接ロールプレイング:グループ・集団面接 演習を行い身に付けることができる						
9回目	面接ロールプレイング:総復習 演習を行い身に付けることができる						
10回目	社会人マナー:5大ポイント 演習を行い身に付けることができる						
11回目	社会人マナー:好印象のために 演習を行い身に付けることができる						
12回目	社会人マナー:名刺交換など 演習を行い身に付けることができる						
13回目	評価項目等の復習・質疑応答 演習を行い身に付けることができる						
14回目	★評価週		テスト				
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習	制服および就職活動時および面接時の身だしなみ確認 面接ロールプレイング 社会人マナー						
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。						
受講生へのメッセージ	就職することがゴールになりすぎないよう、今後の社会人として長きにわたり生きていくスタートとして学んでください 面接は作ったものは通用しません。就職先に担う人として採用後の伸び代・意識が問われます 自己表現とともに、期待を行動・評価につなげられる意欲を伝えられるかを考えて学んでほしいです						

科目名 (英)	就職講座 workseminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
【学習内容】 前期の授業を踏まえて、社会人に必要なビジネスマナーを新入社員研修のカリキュラムに沿って学ぶ。 【実務経験】 日本航空国際線客室乗務員歴2年間、ドイツに5年間滞在中、ビジネスマナー、日本語講師を2年間。西南学生大学、福岡女学院大学で就職講座・ビジネスマナー5年間。新入社員研修の講師として、福岡市役所、西鉄グループ、NTTドコモ、九州の高校などで務める。							
【到達目標】 15回終了後には、新入社員研修のカリキュラムを習得して接客講師として立つこと出来る。 授業中に課題が出た時は、仲間とともに情報交換しながら解決することが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明・目的と心構えを聞いて、「自分なりの意見」が言えることが出来る。学生と社会人の違いを各自創意工夫して発表することが出来る。
2回目	接客の基本、接客5原則のひとつ「挨拶」の重要性を理解し、説明ができ実技指導が出来る。
3回目	コミュニケーションの大切さ、必要性を理解し説明ができるようになる。
4回目	ホスピタリティ業界における正しい身だしなみを行うことができる。さらに身だしなみにまつわる話を用意して話すことができる
5回目	お辞儀の仕方、入退室の仕方を復習して行うことができる。
6回目	接客の基本動作、立ち姿・座り方・お辞儀歩き方の総まとめを説明して行うことができる。
7回目	接客の応用動作、方向の指し示し方、案内の仕方、物の授受、名刺交換など理解して行うことができる。
8回目	中間テスト
9回目	敬語の復習と職場用語を理解して(練習問題)ロールプレイングができる。
10回目	電話応対、ビジネス電話の特性を理解して行うことができる。電話の慣用句の練習をして身に付ける。
11回目	総まとめロールプレイング
12回目	②社会的スキルを身に着けることができる(文章作成の実践)。
13回目	苦手なところのチェックリストを出し合い、補強作業。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業出席率と期末テスト
受講生へのメッセージ	有意義な時間にしていきたいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Work Seminar	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科				4	曜日・時限	
【授業の学習内容】							
これまでの授業で培った相手の質問の意図を理解する力や、自身の経験による「気付き」を活かし、的を得た説得力のある受け答えができるようサポートします。 5年先・10年先の働く自分像を思い描き、やりたいことを具体的に考え、面接という対話の中で熱意と目標を堂々と伝えられるようサポートします。							
【実務経験】							
全日本空輸株式会社およびANAグループ企業にて 品質推進, 旅客 サービス, 接遇・アナウンス等インストラクター, 運航支援, ロードコントロール等で10年勤務。 株式会社ベネッセコーポレーションにて 店舗(営業, 接客, イベントMC), こども英語教室(講師サポート)で3年勤務。							
【到達目標】							
・これまでの就職活動を振り返り、客観的な自己評価に基づいて、自身の成長と今後の努力点を見定めることができる。 ・お客様の信頼を得られる葬儀ディレクターになるために求められることを再認識し、入社後の目指す姿として掲げることができる。 ・葬儀業界と志望企業について細やかに研究し、自分のやりがいと企業の求めるものとの一致点を明確にして、説得力のある応募書類を作成できる。 ・面接の場において応募書類を自身の言葉で補完でき、映像イメージを抱いてもらえるような口述スキルを習得できる。 ・WEB面接でのポイントを抑え、対面とWEBのどちらの形式の面接にも自信を持って臨むことができる。							

授業計画・内容		
1回目	授業の目的,「なりたい自分」像を再確認・可視化して,就職内定に向けて意欲を高めることができる	
2回目	志望する企業について最新の採用状況を確認し,企業の求める人材について掘り下げることができる	
3回目	葬儀ディレクターに求められることを再確認し,信頼の重要性を自分事として実感することができる	
4回目	応募書類(履歴書・エントリーシート)を推敲し,自分らしい表現で熱意と将来性をより感じさせることができる①	
5回目	応募書類(履歴書・エントリーシート)を推敲し,自分らしい表現で熱意と将来性をより感じさせることができる②	
6回目	葬儀業界の現状に対する改善点や新たなアイデアを「企画」し,説得力をもって相手に伝えることができる	
7回目	面接で質問が予想される項目について,「映像的イメージ」で伝わるよう自身の言葉で表現できる①	
8回目	面接で質問が予想される項目について,「映像的イメージ」で伝わるよう自身の言葉で表現できる②	
9回目	面接で質問が予想される項目について,「映像的イメージ」で伝わるよう自身の言葉で表現できる③	
10回目	正しくわかりやすく美しい日本語の文章を書けるようになる① 手紙 作文	
11回目	正しくわかりやすく美しい日本語の文章を書けるようになる② 報告書	
12回目	WEB面接の実践的練習を通して,WEB面接に特化した対策ができる	
13回目	業界の未来を見据えて自分らしい働き方や目指す姿を明確にできる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	授業で習ったことはその都度復習し,日常生活やアルバイト等でも積極的に実践しましょう。 応募書類の作成や企業研究等,指示された課題は必ず行い,授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 間を作って日記や詩を書いてみましょう。	
評価方法	期末テスト 100% (実技試験)	
受講生へのメッセージ	就職活動には調子の良い時もあれば,思うように行かない時もあるでしょう。それでも未来の「なりたい自分」を諦めず,できることを着実に増やしていきましょう。夢は願い続けた人だけが叶えられるものです。努力は必ず「できる」を増やしてくれます。 企業に問われているのはあなた自身の人柄や可能性,将来への意気込みです。これまでのあらゆる積み重ねがあなたの魅力です。ありのままの自分と向き合い,自信を持ってあなたの素晴らしさを堂々とアピールしましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキスト : 『面接の振り返りとWEB面接の対策』 『葬儀業界 面接対策質問集』 『「葬儀業界のトレンド」他 業界就職対策のプリント集』 その他 適宜プリント等を配布		

時

科目名 (英)	宿泊マネジメント	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	Roomcontrol management	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の全体像を理解する事ができる。							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 基礎的なホテルマネジメントの知識を身に付けながらも、現代の宿泊業界でキャリアを目指す人材に必要なコンテンツを学びながら、自身のスキルでホテルを動かす、変える、売上を上げる事のできるマネージャーへの基礎を習得する事ができる							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・学生自己紹介・宿泊業界への思いについてフリーディスカッションを行う	
2回目	アフターコロナで起こる宿泊業界の変化を知り、理解し、説明ができるようになる	
3回目	ホテルと旅館の違いについて議論し、違いを説明ができるようになる	
4回目	ホテル・旅館における構造及び宿泊客への提供物の違いを説明できるようになる	
5回目	ホテル・旅館における料飲部門の役割、お客様へ与える価値を説明できるようになる	
6回目	ホテル・旅館における収支構造(売上構造)を理解し、説明できるようになる	
7回目	ホテル・旅館における収支構造(経費構造)を理解し、説明できるようになる	
8回目	ホテル・旅館における収支構造(利益構造)を理解し、説明できるようになる	
9回目	現在の宿泊業界で必要とされるスキルと知識を理解し、自身の目標設定をできるようになる	
10回目	サービスマーケティングの存在と価値を理解し概要を説明する事ができる	
11回目	サービスをビジネスと考え、顧客へ提供する価値を理解し説明ができるようになる	
12回目	サービスと顧客の受ける価値の種類を理解し、説明ができるようになる	
13回目	試験前のこれまでの授業内容の振り返りの実施	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	試験のフィードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	ホテル旅館のサービスを、ビジネスとして科学する事で良いクオリティの高いサービスを考案し実施できる人材を目指してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	宿泊業務実習Ⅰ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Practice of Lodging	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる							
【到達目標】							
・ホテルの主体である宿泊に関する業務を知る ・ロールプレイングをすることによって、業務を実践的に身につけることができる							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる						
2回目	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話対応を理解できる						
3回目	現代のホテルビジネスを支える情報システムを理解できる						
4回目	宿泊部門／業務の流れ(客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り)を理解できる						
5回目	宿泊部門／業務の流れ(客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り)を実践形式で対応できる						
6回目	宿泊部門／フロントオフィスの業務について理解できる						
7回目	★中間評価						
8回目	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クロークの業務を理解し、実践形式で対応できる						
9回目	ロールプレイング／フロント業務(リザーベーション、レセプション、インフォメーションなど)を理解し、実践形式で対応できる						
10回目	ロールプレイング／フロント、コンシェルジュ業務を実践形式で対応出来る						
11回目	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる						
12回目	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる						
13回目	評価対策、「サービスのプロ」としての在り方を理解できる						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく						
評価方法	・筆記30%、実習試験50%(ロールプレイング) ・授業態度20%(学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言)						
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学んでほしいです						
【使用教科書・教材・参考書】							
・学校テキスト							

科目名 (英)	出入国法令	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】							
出入国に関連する条件や旅行の際の規則など旅行業における法律を学び、実務レベルで必要な知識の習得を目的とする 実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】							
出入国における専門用語の意味を理解できる。							

授業計画・内容		
1回目	法の目的 演習問題(解答と解説)	
2回目	出国に関する条項、通達を理解する①	
3回目	出国に関する条項、通達を理解する②	
4回目	出国に関する条項、通達を理解する③	
5回目	出国に関する条項、通達を理解する④	
6回目	入国に関する条項、通達を理解する①	
7回目	入国に関する条項、通達を理解する②	
8回目	入国に関する条項、通達を理解する③	
9回目	入国に関する条項、通達を理解する④	
10回目	中間テスト	
11回目	法令のまとめ	
12回目	コロナ禍におけ出入国の状況と各国のとりきめについて	
13回目	理解度テスト	
14回目	★評価週	確認テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルテキスト		
その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Upgrade program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出 & プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましよう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Upgrade program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出 & プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましよう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	総合旅行業務取扱管理者対策	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】							
この授業では、総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す学生を対象に、国家試験科目の一部である「国際航空運賃計算」と「国際航空運送約款」について講義および演習を行う。旅行業界ならびに旅行関連業界で必要な国際航空に関する知識と運賃計算技能を習得し、国家試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。 実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】							
国際航空運賃計算に必要な語句や運賃計算のしくみを説明することができる。 国際航空運賃計算の手順を理解し、正しく計算することができる。 総合旅行業務取扱管理者試験の「旅行業約款、運送および宿泊約款」科目において6割以上得点することができる。							

授業計画・内容		
1回目	総合旅行業務取扱管理者試験の概要と科目・分野 国際航空運賃の基礎知識を理解できる	
2回目	eチケットお客様控えの見方を理解できる	
3回目	タリフの見方、旅行形を理解できる	
4回目	IATAエリア(TC)とグローバルインディケーター(GI)を理解できる	
5回目	国際航空運賃①(計算手順、往復旅行)を理解できる	
6回目	国際航空運賃②(周回旅行)を理解できる	
7回目	国際航空運賃③(オープンジョー旅行 ― OJ計算)の計算が出来るようになる	
8回目	国際航空運賃⑤(特別運賃)の計算が出来るようになる	
9回目	国際航空運送約の計算が出来るようになる	
10回目	国際航空運送約款、旅行業約款渡航手続代行契約のについて学び理解が出来るようになる	
11回目	国際航空運賃計算問題演習① の計算が出来るようになる	
12回目	国際航空運賃計算問題演習② の計算が出来るようになる	
13回目	国際航空運賃計算問題演習③ の計算が出来るようになる	
14回目	★評価週	国際航空運賃計算テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	授業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ	自信を持って生き生きと働く自分の姿を想像してみましょう。この授業で取り上げる内容は、社会に出て役に立つことばかりです。毎授業プレ社会人のつもりで受講し、仕事の面白さと重要性を実感してください。キラキラ輝く新社会人を目指しましょう。 また、現在はダイバーシティ(多様性)を更に認めていこうとする世界的な流れがあります。そのような社会で様々な立場の人たちとどう関わっていけば良いかを考えながら、ユニバーサルマナーやサービス介助の方法についても不安なく実践できるレベルまで身につけましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルテキスト		
その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	卒業制作	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	
	Graduation Production	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
【学習内容】 バー勤務経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を講義と演習を交え、卒業制作に向けて実践にて学ぶ事が出来る授業です。 【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務) 調理師免許保有 【到達目標】 個々の知見を深め技術の探求と達成感を目標設定とします 〈具体的な目標〉 目標①場面での課題に向き合い改善方法を見つけられる考え方を持ちます 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養います 目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化

授業計画・内容	
1回目	卒業制作の草案を練り、行動計画を考える事が出来る
2回目	作品①を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
3回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
4回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
5回目	作品②を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
6回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
7回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
8回目	中間試験（作品提案とデータ化）
9回目	作品③を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
10回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
11回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
12回目	制作発表の準備を行い改善点を抽出し克服出来る
13回目	作品提案とデータ化
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	卒業制作提出
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Chinese	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。							
【到達目標】							
グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介できる。
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につかなかった部分を補うことができる。
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。 中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。 授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等	

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Chinese	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。							
【到達目標】							
グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介できる。
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につかなかった部分を補うことができる。
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。 中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。 授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等	

科目名 (英)	調理基礎演習	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
	Basic cooking training	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
調理の基本的概念を学ぶ。料理のおいしさとは様々な要因によって構成されていること知り、その各食品の変化に関わる各調理方法の原理と特徴を、多角的な視点で学ぶ。							
【到達目標】							
①基本的な調理方法を系統的に捉えることができる。 ②各調理法の特徴を理解することで、各調理を行う際の注意すべき点がわかる。							

授業計画・内容		
1回目	調理とは何か 調理の定義と目的、調理について造詣を深めることができる	
2回目	基本の五味、閾値、味の相互作用、温度と味について学び造詣を深める	
3回目	嗅覚(香りの種類、特徴、温度)について学び造詣を深める	
4回目	調理の基本技術(1) 調理の五法 調理操作 ①非加熱操作について学び造詣を深める	
5回目	調理の基本技術(2) 調理の五法 調理操作 ②加熱操作について学び造詣を深める	
6回目	調理の基本技術(3)加熱調理(1)湿式加熱の特徴 ①ゆでるについて学び造詣を深める	
7回目	調理の基本技術(4) 加熱調理(1) ②煮るについて学び造詣を深める	
8回目	調理の基本技術(5) 加熱調理(1)③蒸すについて学び造詣を深める	
9回目	調理の基本技術(6) 加熱調理(1)④炊飯について学び造詣を深める	
10回目	調理の基本技術(7) 加熱調理(2) ⑤焼くについて学び造詣を深める	
11回目	調理の基本技術(9) 加熱調理(2) ⑥揚げについて学び造詣を深める	
12回目	留学先の食文化を理解する ①ヨーロッパ・肉食文化について学び造詣を深める	
13回目	留学先の食文化を理解する ②ヨーロッパにおける粉食文化について学び造詣を深める	
14回目	★評価週	学んだことをレポート作成
15回目		振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポートにて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルレジメ		

科目名 (英)	通訳案内士対策	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	inbound guide	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国土交通省観光庁認定1級講師より、宿泊業や観光業にかかわるインバウンドの旅行の特徴、国籍による考え方の違いを学ぶ。実際のデータや実体験のストーリーをもとに、インバウンドのお客様に喜んでいただく日本でのご過ごし方を探っていく。また外国語が苦手でもツールを使ってコミュニケーションをとる方法を具体的に学ぶ。							
【到達目標】 異文化を理解することができる 外国のお客様に通じる接遇をの基本を理解できる 外国のお客様を迎える心構えとそのポイントをすることができる。 外国のお客様とデバイスやコミュニケーションシートを使って積極的にコミュニケーションをとることができる。 英語で簡単な挨拶ができる							

授業計画・内容	
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる。
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる。
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる。
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来るようになる。
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来るようになる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	国交省観光庁が監修したコミュニケーションシートとVoice Traを導入して事前に自分でトライしてみる
評価方法	期末テスト100%(実践も含む)
受講生への メッセージ	日本のインバウンド対応に関してはコロナを境にマスで処理する大型観光から、個人対応それもナイトタイムエンターテインメントを大事にずるに変わりつつあります。IRを含めた総合的な対応を学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 多言語コミュニケーションシート、Voicetra	

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Spirit Of OMOTENASHI	必修 選択	洗濯必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。							
【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・茶道の歴史を知ることが出来る。(千利休の人物像)茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。	
2回目	和室でのふるまい(襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方)を知ることが出来る。	
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。①	
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置	
5回目	家でも楽しめるお茶の点て方を知ることができる。盆略点前①	
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆略点前②	
7回目	盆略点前③抹茶を頂くときのお茶碗の扱い方を身に付ける	
8回目	実際にお茶を点てて飲むことができる。お菓子の取り方、頂き方を身に付けることができる。	
9回目	「総合芸術」という茶道を深く知ることができる	
10回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる	
11回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)	
12回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる	
13回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)	
14回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)	
15回目	★評価週	期末テスト(実技・筆記)
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト	
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
特になし		

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Spirit Of OMOTENASHI	必修 選択	洗濯必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。							
【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・茶道の歴史を知ることが出来る。(千利休の人物像)茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。	
2回目	和室でのふるまい(襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方)を知ることが出来る。	
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。①	
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置	
5回目	家でも楽しめるお茶の点て方を知ることができる。盆略点前①	
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆略点前②	
7回目	盆略点前③抹茶を頂くときのお茶碗の扱い方を身に付ける	
8回目	実際にお茶を点てて飲むことができる。お菓子の取り方、頂き方を身に付けることができる。	
9回目	「総合芸術」という茶道を深く知ることができる	
10回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる	
11回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)	
12回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる	
13回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)	
14回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)	
15回目	★評価週	期末テスト(実技・筆記)
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト	
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承していったほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
特になし		

科目名 (英)	旅行企画演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Tourism Plan Research	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ホテルや観光全体のトピックを深く掘り下げて調べ発表する							
【実務経験】海外ホテルチェーンの統括本部で管理マーケティングを担当、その後ヒルトンや西鉄などのホテルスタッフの研修に携わり、全国通訳案内士や国土交通省認定の1級インバウンド講師の資格を持つ講師が指導。							
【到達目標】 ホテルの新しい業態を探り具現化している企業を研究して発表する。 特鋼のあるホテルをデザインしている建築家を研究して発表する。 日本各地のテーマパークを研究し、小さくても人気のある秘密を探り発表する。 インバウンドに向けて今までの既存の観光コースではない体験型のツアーを構築してプレゼンする。							

授業計画・内容		
1回目	授業の目標、方法、グループ分けを行い、研究の狙いを理解できる	
2回目	新しい業態のホテルを知ることが出来る その1	
3回目	新しい業態のホテルを知ることが出来る その2	
4回目	環境にやさしいホテルの対策を知ることが出来る	
5回目	ホテル建築家について学ぶことが出来る その1	
6回目	ホテル建築家について学ぶことが出来る その2	
7回目	日本の2大テーマパークについて学ぶことが出来る その1	
8回目	九州のテーマパークについて学ぶことが出来る その2	
9回目	インバウンドの新しい観光の仕方、ホテルでの過ごし方を探ることが出来る	
10回目	グループごとにどのテーマについて調べてプレゼンするかを決めることが出来る	
11回目	グループワーク その1 決めたプレゼンテーマを基にグループで作業し、資料作成が出来る	
12回目	グループワーク その2 決めたプレゼンテーマを基にグループで作業し、資料作成が出来る	
13回目	グループワーク その3 決めたプレゼンテーマを基にグループで作業し、資料作成が出来る	
14回目	★評価週	プレゼンテーション 本番
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック
準備学習 時間外学習	グループごとにテーマを決めてプレゼンしますので、その準備をしっかりとお願いします。また、個人評価のためにレポートを一人一人工夫してお願いします。	
評価方法	グループごとのプレゼンと個人のレポート	
受講生への メッセージ	ホテルや観光業の深いところを理解して、プレゼンができるようになります。	
【使用教科書・教材・参考書】		
なし、基本は講師のレジメ		

科目名 (英)	旅行業法/約款Ⅰ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						
【授業の学習内容】							
旅行業界ならびに旅行関連業界において、旅行者との間で契約を結ぶ上で、旅行業約款および各種関連約款(航空・フェリー・貸切バス・宿泊)の知識は必須である。 この授業では、旅行業従事者として必要な約款に関する知識を習得し、国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。							
実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】							
関連約款(航空・JＲ・フェリー・貸切バス・宿泊)の概要を説明することができる。 旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。 旅行業および運送・宿泊等旅行関連業界における約款の位置付けと重要性を説明できる。 旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し正確に解くことができる。							

授業計画・内容		
1回目	旅行業約款 総則 用語の定義について学び理解できる	
2回目	契約の成立①(契約の申し込み) 契約の成立②(契約締結拒否事由)について学び理解できる	
3回目	契約の成立③(契約の成立、書面の交付) 契約の変更①(契約内容の変更)について学び理解できる	
4回目	契約の変更②(旅行代金の変更)旅行者の解除権について学び理解できる	
5回目	旅行者の解除権 (旅行開始前の解除)について学び理解できる	
6回目	旅程管理、責任について学び理解できる	
7回目	旅程保証①(変更補償金の支払い) 旅程保証②(変更補償金が支払われない場合)について学び理解できる	
8回目	旅程保証③(変更補償金の支払いの要否) 特別補償①(特別補償とは)について学び理解できる	
9回目	特別補償②(補償金等)特別補償③(損害補償金)特別補償④(特別補償と損害賠償)について学び理解できる	
10回目	企画旅行契約・手配旅行契約 まとめについて学び理解できる	
11回目	旅行相談契約について学び理解できる	
12回目	関連約款について理解できる①	
13回目	関連約款について理解できる②	
14回目	★評価週	確認テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルテキスト 総合旅行業務取扱管理者対策		
その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	旅行業法/約款Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】							
旅行業界ならびに旅行関連業界において、旅行者との間で契約を結ぶ上で、旅行業約款および各種関連約款（航空・フェリー・貸切バス・宿泊）の知識は必須である。この授業では、旅行業従事者として必要な約款に関する知識を習得し、国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。 実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】							
関連約款（航空・ＪＲ・フェリー・貸切バス・宿泊）の概要を説明することができる。 旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。 旅行業および運送・宿泊等旅行関連業界における約款の位置付けと重要性を説明できる。 旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し正確に解くことができる。							

授業計画・内容		
1回目	旅行業の定義について学び理解することができる	
2回目	旅行業の定義 演習問題(解答、解説)について学び理解することができる	
3回目	登録制度 演習問題(解答、解説)について学び理解することができる	
4回目	営業保証金制度 演習問題(解答、解説)について学び理解することができる	
5回目	旅行業務取扱管理者、料金の揭示 演習問題(解答、解説)について学び理解することができる	
6回目	取引条件の説明と契約書面 演習問題(解答、解説)について学び理解することができる	
7回目	外務員、広告の表示 演習問題(解答、解説)について学び理解することができる	
8回目	関連約款 約款についての過去問を解き理解を深める	
9回目	関連約款 約款についての過去問を解き理解を深める	
10回目	関連約款 約款についての過去問を解き理解を深める	
11回目	関連約款 約款についての過去問を解き理解を深める	
12回目	関連約款 約款についての過去問を解き理解を深める	
13回目	関連約款 約款についての過去問を解き理解を深める	
14回目	★評価週	確認テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
オリジナルテキスト 総合旅行業務取扱管理者対策		
その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	旅行実務 I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】 店頭販売では、旅行パンフレットの内容を熟知したうえでホテルや交通手段の料金の案内をしながら、予約や手配を行う。接客販売時でのトーク(案内事項、予約事項)力やマナーを身に付けることが実際の接客では不可欠。この授業では実際のパンフレットを使用し、ロールプレイングを通して、接客販売業務を学ぶ 実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】 J R時刻表、航空時刻表を使い、時刻や手続きの案内ができる。 ビジネスパックやUSJパンフレットの説明ができる。 接客時の姿勢や振る舞い、パンフレットの指し方など、お客様へ配慮の行き届いた対応ができる。							

授業計画・内容		
1回目	旅行パンフレットについて（パンフレットの見方、概要、時刻表の使い方）学び理解できるようになる	
2回目	ビジネスパック商品について（JR利用と航空利用の違いと商品概要）学びを深めることができる	
3回目	ビジネスパック商品の販売①（挨拶→商品の説明→手配までの流れ）学びを深めることができる	
4回目	ビジネスパック商品の販売②（キャンセル料やその他の案内、ロールプレイング）学びを深めることができる	
5回目	USJ商品について①（商品概要）学びを深めることができる	
6回目	USJ商品について②（ホテル選択と料金について）学びを深めることができる	
7回目	USJ商品の販売①（挨拶→商品の説明→手配までの流れ）学びを深めることができる	
8回目	USJ商品の販売②（料金案内までの販売練習）学びを深めることができる	
9回目	USJ商品の販売③（トーク力とマナーを意識した販売練習）学びを深めることができる	
10回目	USJ商品の販売④（ロールプレイング）学びを深めることができる	
11回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
12回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
13回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
14回目	★評価週	確認テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッ セージ		
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキスト　総合旅行業務取扱管理者対策 その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	旅行実務Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】 店頭販売では、旅行パンフレットの内容を熟知したうえでホテルや交通手段の料金の案内をしながら、予約や手配を行う。接客販売時でのトーク(案内事項、予約事項)力やマナーを身に付けることが実際の接客では不可欠。この授業では実際のパンフレットを使用し、ロールプレイングを通して、接客販売業務を学ぶ 実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】 J R時刻表、航空時刻表を使い、時刻や手続きの案内ができる。 ビジネスパックや沖縄観光パンフレットの説明ができる。 接客時の姿勢や振る舞い、パンフレットの指し方など、お客様へ配慮の行き届いた対応ができる。							

授業計画・内容		
1回目	旅行パンフレットについて（パンフレットの見方、概要、時刻表の使い方)学び理解できるようになる	
2回目	ビジネスパック商品について（JR利用と航空利用の違いと商品概要)学びを深めることができる	
3回目	ビジネスパック商品の販売①（挨拶→商品の説明→手配までの流れ)学びを深めることができる	
4回目	ビジネスパック商品の販売②（キャンセル料やその他の案内、ロールプレイング)学びを深めることができる	
5回目	沖縄観光商品について①（商品概要)学びを深めることができる	
6回目	沖縄観光商品について②（ホテル選択と料金について)学びを深めることができる	
7回目	沖縄観光商品の販売①（挨拶→商品の説明→手配までの流れ)学びを深めることができる	
8回目	沖縄観光商品の販売②（料金案内までの販売練習)学びを深めることができる	
9回目	沖縄観光商品の販売③（トーク力とマナーを意識した販売練習)学びを深めることができる	
10回目	沖縄観光商品の販売④（ロールプレイング)学びを深めることができる	
11回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
12回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
13回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
14回目	★評価週	確認テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキスト　旅行パンフレット その他 適宜プリント等を配布		

科目名 (英)	旅行実務Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】 店頭販売では、旅行パンフレットの内容を熟知したうえでホテルや交通手段の料金の案内をしながら、予約や手配を行う。接客販売時でのトーク(案内事項、予約事項)力やマナーを身に付けることが実際の接客では不可欠。この授業では実際のパンフレットを使用し、ロールプレイングを通して、接客販売業務を学ぶ 実務実績 運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事							
【到達目標】 J R時刻表、航空時刻表を使い、時刻や手続きの案内ができる。 ビジネスパックや東京観光パンフレットの説明ができる。 接客時の姿勢や振る舞い、パンフレットの指し方など、お客様へ配慮の行き届いた対応ができる。							

授業計画・内容		
1回目	旅行パンフレットについて（パンフレットの見方、概要、時刻表の使い方）学び理解できるようになる	
2回目	ビジネスパック商品について（JR利用と航空利用の違いと商品概要）学びを深めることができる	
3回目	ビジネスパック商品の販売①（挨拶→商品の説明→手配までの流れ）学びを深めることができる	
4回目	ビジネスパック商品の販売②（キャンセル料やその他の案内、ロールプレイング）学びを深めることができる	
5回目	東京観光商品について①（商品概要）学びを深めることができる	
6回目	東京観光商品について②（ホテル選択と料金について）学びを深めることができる	
7回目	東京観光商品の販売①（挨拶→商品の説明→手配までの流れ）学びを深めることができる	
8回目	東京観光商品の販売②（料金案内までの販売練習）学びを深めることができる	
9回目	東京観光商品の販売③（トーク力とマナーを意識した販売練習）学びを深めることができる	
10回目	東京観光商品の販売④（ロールプレイング）学びを深めることができる	
11回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
12回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
13回目	ロールプレイングで学びを深めることができる	
14回目	★評価週	確認テスト
15回目	★まとめ・追試／再試	総括
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 業で習った知識は、その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は、実践的に復習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキスト　旅行パンフレット 		